

科目コード: 2100

科目名 健康1年 専門科目

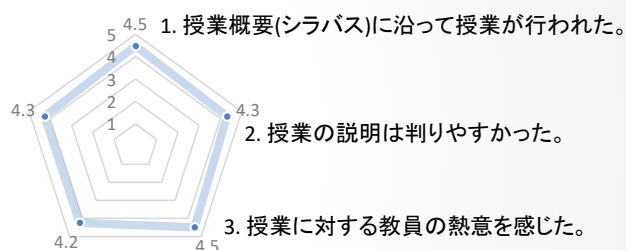
回答者数: 560 名

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	335	174	41	6	4	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	310	157	62	15	16	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	364	133	46	8	9	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	276	181	79	14	10	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	282	177	78	13	10	4.3
総平均							4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～

この授業を受講したことによって、5.
この分野の学びを深めたいと思った。

質疑や課題に対するフィードバックが 4.
あった。



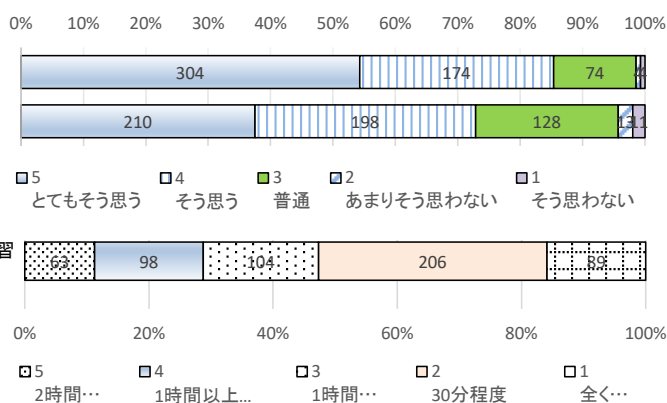
設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	304	174	74	4	4	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	210	198	128	13	11	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	63	98	104	206	89	2.7

2. 学習に対する自己評価について

あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。

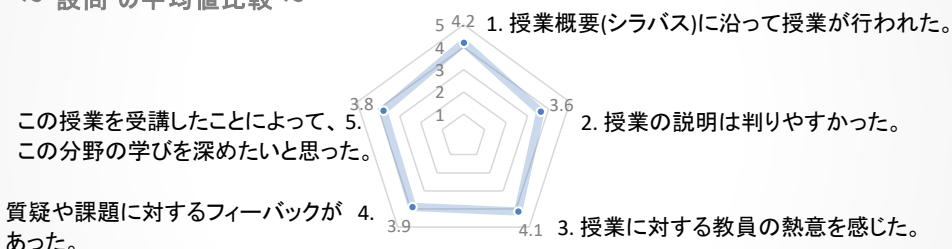
議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。

この授業一回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。



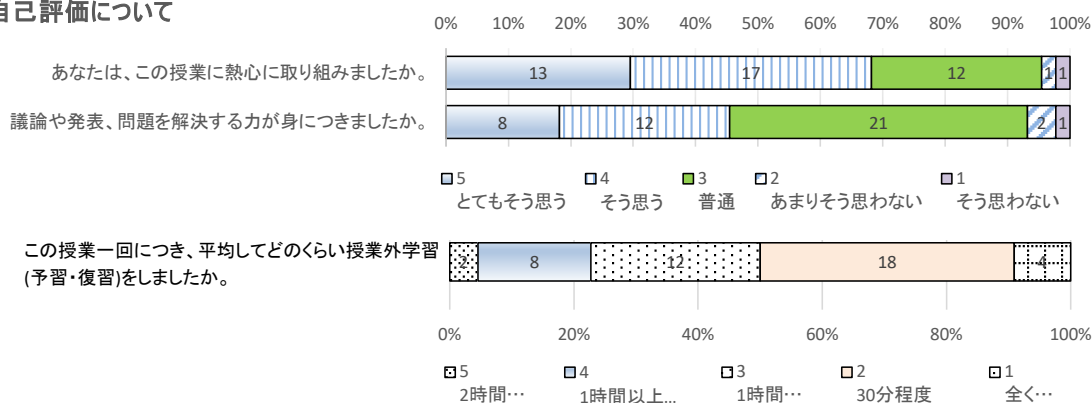
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	17	19	8	0	0	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	11	13	13	6	1	3.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	17	17	9	1	0	4.1
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	14	17	7	6	0	3.9
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	16	9	14	3	2	3.8
総平均							3.9

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	13	17	12	1	1	3.9
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	8	12	21	2	1	3.5
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	8	12	18	4	2.7

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

「授業の説明は分かりやすかった」の評価が低かった。配付する資料の図表を大きくし、書き込みやすくしたが、また要点は繰り返し説明するよう心がけたが、分かりやすさには必ずしも繋がらなかったようである。また、説明に十分な時間がとれず、理解しづらかった項目もあったものと思われる。1スライドに書き込む量が多いとの指摘もあった。

②課題と展望(授業改善方針)

配付する資料の図表等をさらに工夫し、また各項目の説明内容の量とバランスを検討して、説明が分かりやすくなるよう努めたい。また時間外学習の時間1時間程度以下が約80%であった。生化学の内容は各項目が密接に関連するので、復習して理解しておくことが必要である。課題など復習のための時間外学習増加につながるものをさらに課していく必要があると思う。スライドへ書き込みやすくなるよう工夫したい。

科目コード: 2102

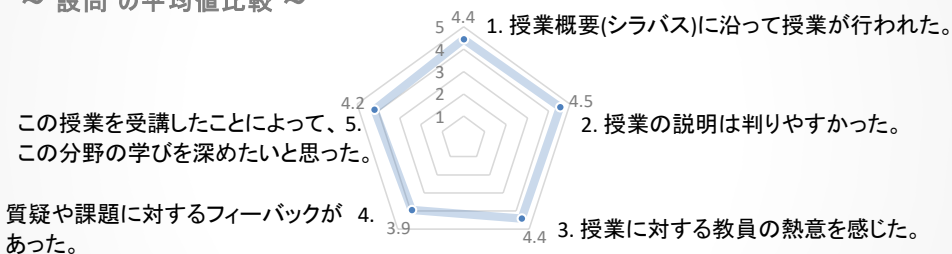
科目名 運動生理学

回答者数: 43 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 講義 担当者 宮島剛

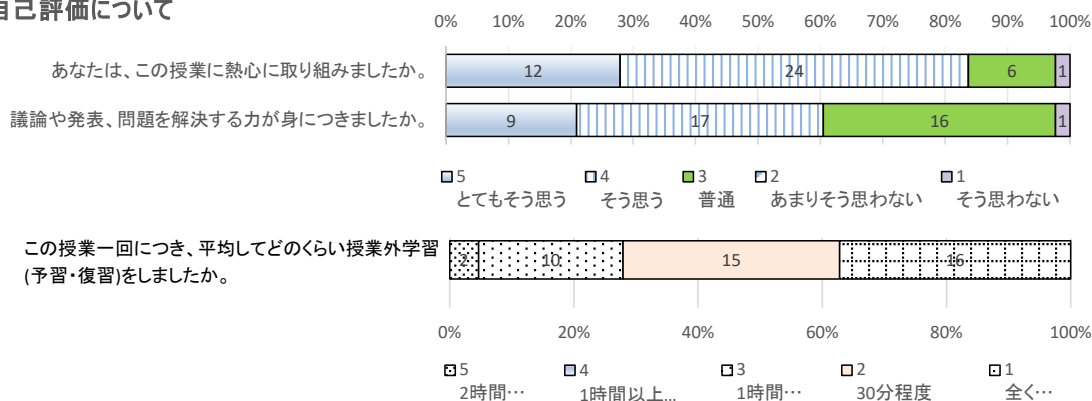
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	26	12	4	0	1	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	29	10	3	0	1	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	25	13	4	0	1	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	14	15	12	1	1	3.9
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	15	23	4	0	1	4.2
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	12	24	6	0	1	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	9	17	16	0	1	3.8
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	0	10	15	16	2.0

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

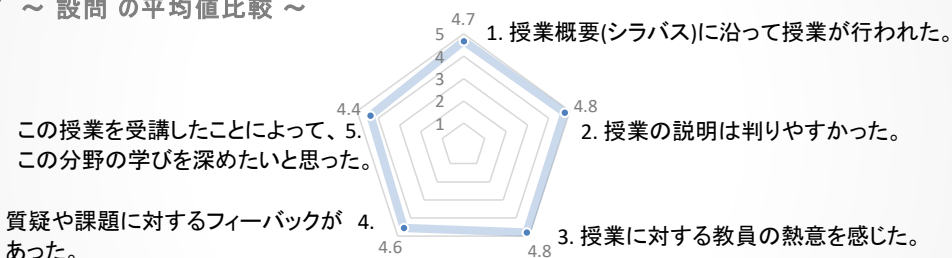
1. 授業について、で全項目に1をつけた方が1名あって気になりましたが、2.の自己評価についても同様なので、深刻に受け止めなくてよいかと拝察しました

②課題と展望(授業改善方策)

1.(4)フィードバックの項、質問などが出ているのに気が付かなかったかもしれませんね、失礼しました。

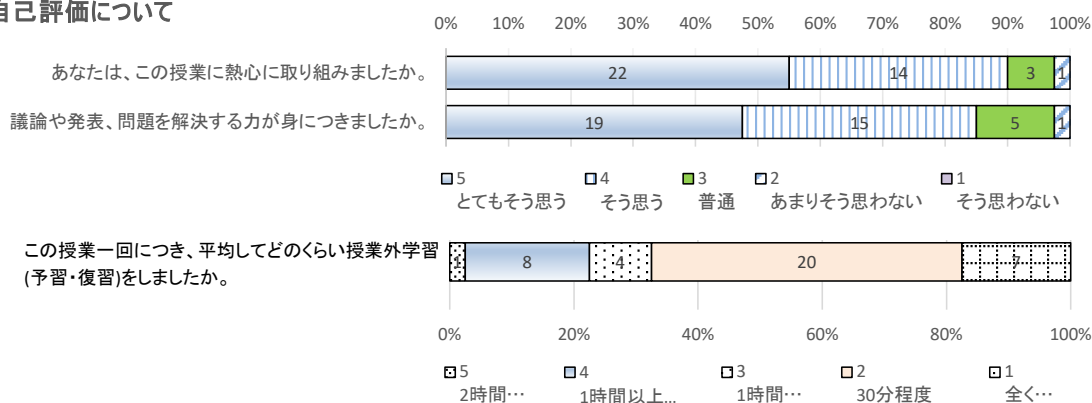
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	27	13	0	0	0	4.7
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	30	10	0	0	0	4.8
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	32	8	0	0	0	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	23	16	1	0	0	4.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	19	17	4	0	0	4.4
総平均							4.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	22	14	3	1	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	19	15	5	1	0	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	8	4	20	7	2.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

毎回、小テストを実施していたため、30分程度の時間外学習をしていることがうかがえたが、もう少し予習復習ができるような工夫ができたらいと感じた。Teamsでの小テストは実施しやすいという意見をもらえたため、今後も実施していきたいと考えている。

②課題と展望(授業改善方策)

実験と関連づけて学べるように工夫し、自らの学びを深めていけるように、プリントの改善や書籍の紹介などを積極的にしていきたい。

科目コード: 2104

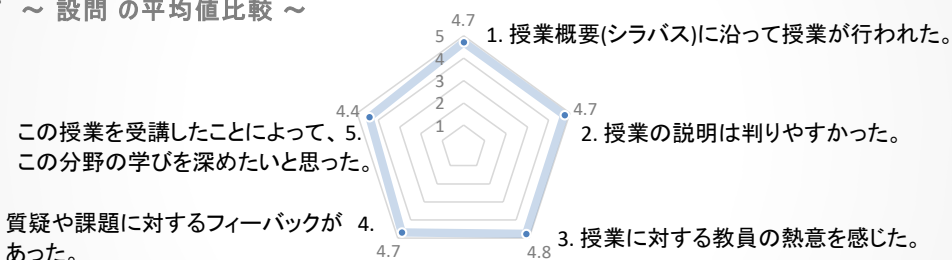
科目名 食品学実習

回答者数: 38 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 実習 担当者 甲山恵美

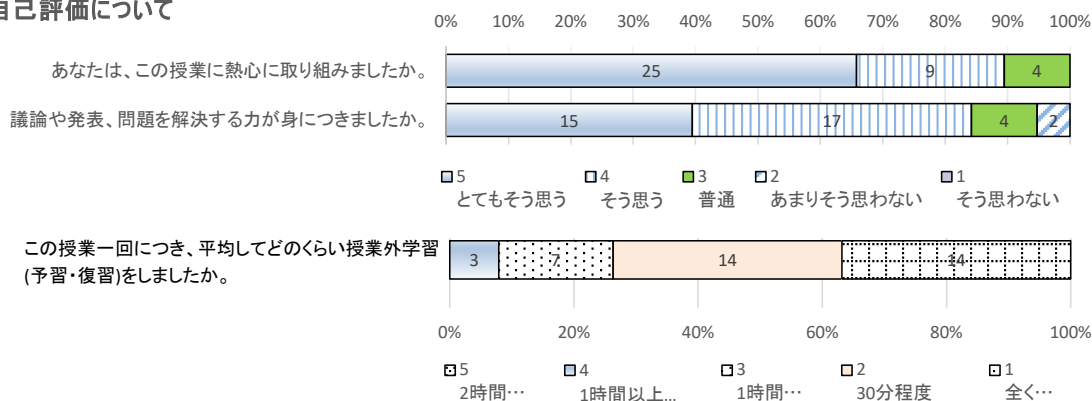
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	27	11	0	0	0	4.7
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	28	10	0	0	0	4.7
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	30	7	1	0	0	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	28	8	2	0	0	4.7
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	20	14	4	0	0	4.4
総平均							4.7

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	25	9	4	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	15	17	4	2	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	3	7	14	14	2.0

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

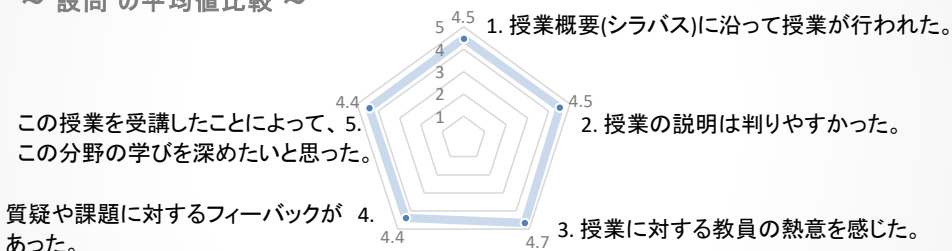
概ね良い評価を頂き、学びを得ることが出来ているとわかったが、授業時間内で完結してしまい、時間外での学びには結びついていないため、実験項目、実験結果についてより考えてレポートを書くように工夫していきたい。

②課題と展望(授業改善方策)

今後、座学で学んだことを実験で実際に確認する、やってみるという流れをスムーズに行えるように準備をしていきたい。実験をやったあとに座学でその内容について学ぶこともあったため、より学びと実験が結びつくように工夫していきたい。また、実験結果はクラスで共有していたが、結果を発表してもらう時間を設けることを検討したい。

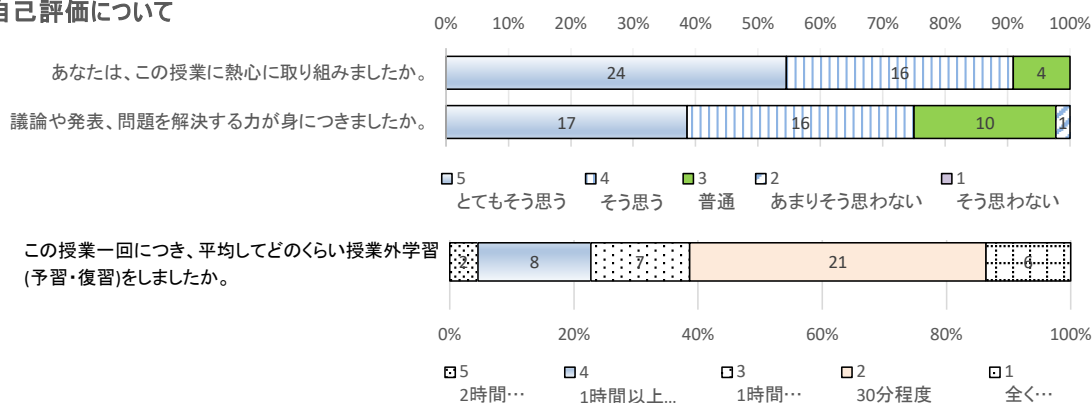
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	25	16	2	1	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	26	15	3	0	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	32	9	3	0	0	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	23	15	6	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	23	17	4	0	0	4.4
総平均							4.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	24	16	4	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	17	16	10	1	0	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	8	7	21	6	2.5

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

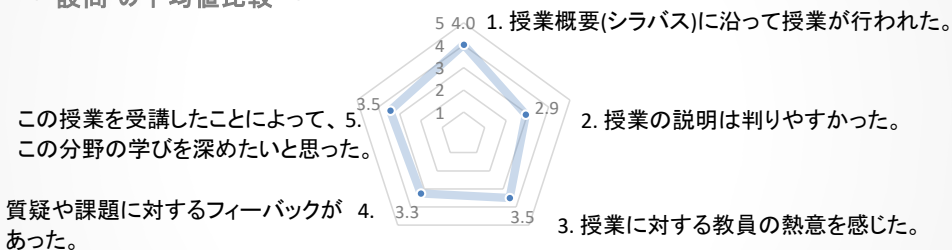
アンケート結果から、①授業概要に沿って授業が行われていた。(4.5)③授業に対する教員の熱意を感じた。(4.7)④質疑や課題に対するフィードバックがあった。(4.4)⑤この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。(4.4)②授業の説明は分かりやすかった。(4.5)と高ポイントを示す回答であった。また、この授業に熱心に取り組みましたか。(4.5)、議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。(4.1)と全体平均を上回る結果が示された。しかし、この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習をしたかの問いに対して、2時間以内(4.6%)、1時間以上2時間未満(18.2%)、1時間未満(15.9%)、30分程度(47.7%)、全くしない(13.6%)となり、1時間未満、30分程度を合わせると61.3%と昨年の67.2%より約6%低下した。やはり学生が予習・復習時間が少ない傾向がみられる。復習の小テストを毎時間導入することによる効果が若干ではあるが認められた。今後、効率的な自主学習を向上させられるかが課題となった。

②課題と展望(授業改善方策)

今年度は、対面授業を継続して実施できたことが、授業に対する学生の前向きな姿勢を現わすアンケート結果となり、各項目とも2023年度より向上している。今年度も昨年度よりさらに細分化した授業で、講義・演習した内容について復習テストを実施することにより、学生の理解がどの程度の水準であったかを評価ポイントとした結果である。基礎栄養学は、栄養学の基礎を学ぶ上で最も重要な科目であるが、高校時代に化学の基礎的知識を学んでこなかった学生に対する授業の理解度を高めていくことが重要な課題となった。

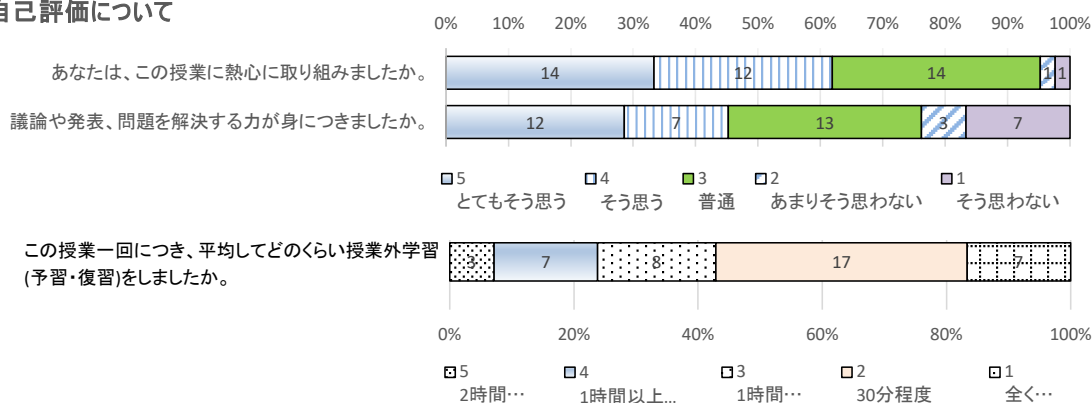
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	18	15	3	4	2	4.0
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	11	6	7	5	13	2.9
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	15	11	3	6	7	3.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	12	8	9	5	8	3.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	13	9	9	6	5	3.5
総平均							3.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	14	12	14	1	1	3.9
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	12	7	13	3	7	3.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	3	7	8	17	7	2.6

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

1) 授業について

評価結果は、全体平均より全ての項目について0.5ポイント～1.4ポイント低い評価で、特に「授業の説明」については「そう思わない」が多かった。これについては、もともと早口と言われて注意していたが、今回は特に声帯にも異常が見られ、声を出すことが困難だったため聞き取りにくいことに拍車をかけたと思われる。

2) 学習に対する自己評価について

「熱心に取り組んだか」について、「普通」以上の合計が95%となっていること、「問題解決の力」では7割強になっていること踏まえるとある程度興味を持っていた科目であったのではないかと推測する。前もって予習ができるようにある程度まとめたプリントを配付しているが、予習・復習にかかる時間については、「全くしていない」人数が、授業への取り組み方より多くなっている点に、一考を要する。

②課題と展望(授業改善方策)

評価を真摯に受け取り、今後早口と言われる点に重点を置き十分に気をつけて臨みたい。

科目コード: 2107

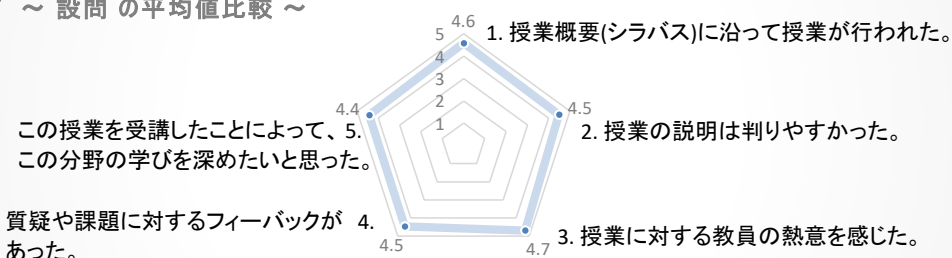
科目名 調理学

回答者数: 46 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 講義 担当者 古俣智江

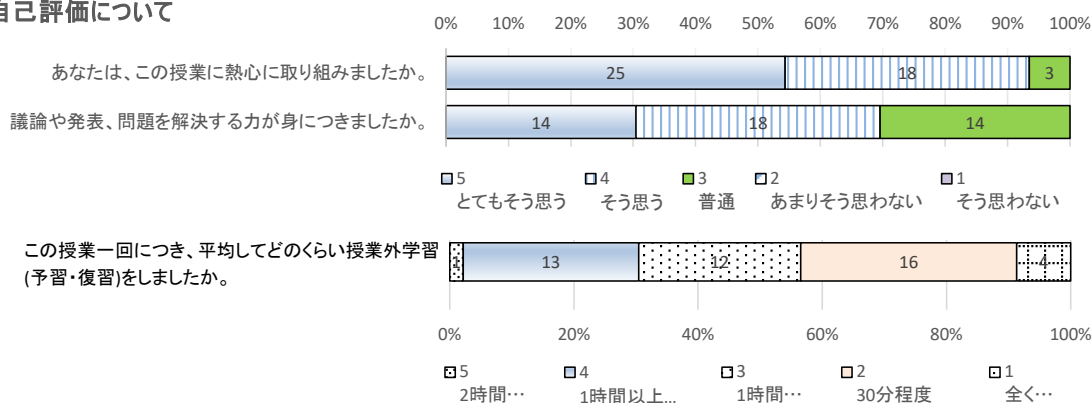
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	28	17	1	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	27	15	3	1	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	32	14	0	0	0	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	25	17	4	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	25	17	3	1	0	4.4
総平均							4.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	25	18	3	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	14	18	14	0	0	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	13	12	16	4	2.8

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

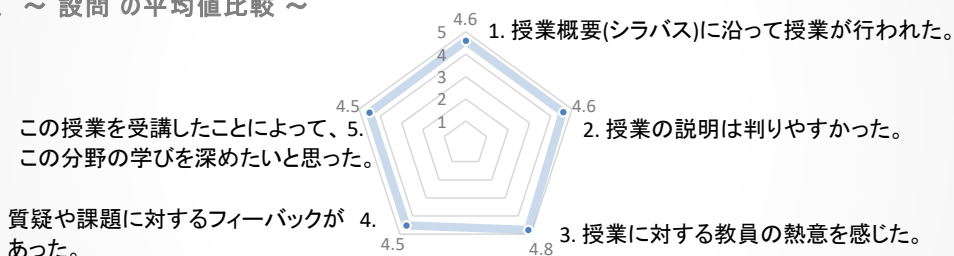
調理学は1年次前期開講科目であり、短大入学後すぐに受講する科目の一つであり、学生は静粛にして受講していたと思われる。ただ、講義形式の授業であるため発表する力などは高く身につけられる機会があまりなかったように考える。しかし、講義の中で、授業内容の確認など学生とのやりとりを通して授業を進めることができた。来年度以降も、講義中の学生と教員とのやりとりの中で、コミュニケーションを取りながら、授業を展開していきたいと考える(総平均4.5)。

②課題と展望(授業改善方策)

学生が高校卒業後すぐに触れる授業という観点から、学生にとって分かりやすい、理解しやすい授業を実施することを心掛けることにしている。今年度も講義プリントを使用し授業を展開したほか、授業外の課題として、確認プリントに取り組むことにより学習内容の定着を図るよう努力した。内容をさらに吟味したうえで、重要なポイントを取りこぼすことのないように講義をしていきたい。今年度も、講義プリントを使用することにより、板書をノートに転記する時間を省くことができたことと考えるため、来年度も同様の形式で授業を実施したいと考えている。

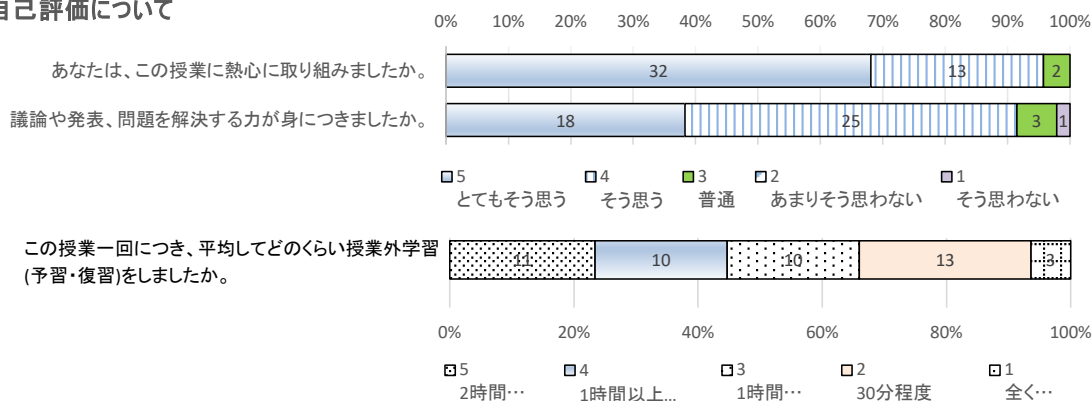
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	29	17	1	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	29	16	2	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	36	11	0	0	0	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	26	19	2	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	28	15	4	0	0	4.5
総平均							4.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	32	13	2	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	18	25	3	0	1	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	11	10	10	13	3	3.3

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

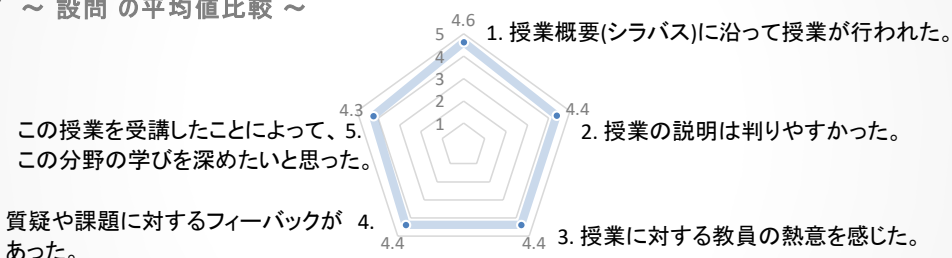
短大入学後の1年生対象に開講される「調理学実習Ⅰ」では調理の基礎を学ぶ実習となっている。高校までの調理実習とは異なる形式の授業に戸惑う学生もいるが、栄養士免許を取得するための授業ということで、緊張感をもって実習に臨んでいる。ほとんどの学生が本実習に熱心に取り組んでくれていることから、栄養士になるための大切な授業の一つとして認識してくれていると考える。また、実習後に反省会を設けているが、情報共有、発表とフィードバックの良い機会となっているため、継続していきたい(総平均4.6)。

②課題と展望(授業改善方策)

高校までの調理実習と異なる点は、楽しいだけの実習ではないということである。学生たちにとっては、栄養士免許取得という大きな目標があるため、栄養士に必要な知識や技術、衛生観念を身につけなければならない。本実習では各回の実習報告で実習ノートの作成を行い、やりっぱなしの実習をしないようにしている。実習作成ノートは2年次の校外実習の報告書作成につながっており、重要な内容となるが、途中でノートの点検や指導を行っても、ノート作成のため込んでしまう学生もいるため、来年度はさらに力を入れて学生指導していきたいと考える。昨年度より、グループ実習前に班内で打合せをする時間を設けているが、今年度は事前打ち合わせが少ないように感じられるため、後期の調理学実習Ⅱでは、意識して伝えていきたい。

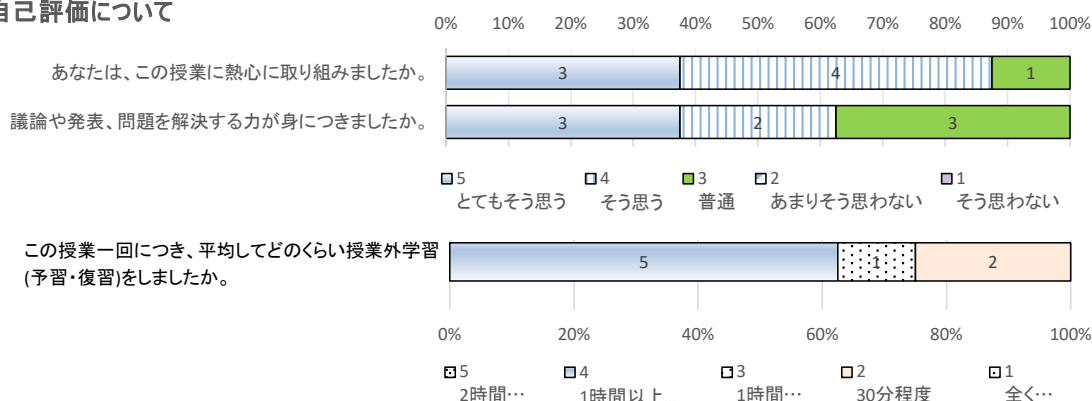
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	5	3	0	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	4	3	1	0	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	4	3	1	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	4	3	1	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	3	4	1	0	0	4.3
総平均							4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	3	4	1	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	3	2	3	0	0	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	5	1	2	0	3.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

本科目は、栄養士業務の中心となる「給食の運営」に関する専門科目である。各項目とも、普通以上の評価を頂けたことから、後期の「給食実務論」、2年前期の「学内実習」や「校外実習」に繋がる一連の学習のスタートの科目として、教員側の説明や、熱意は概ね伝えることができたのではないかとと思われる。

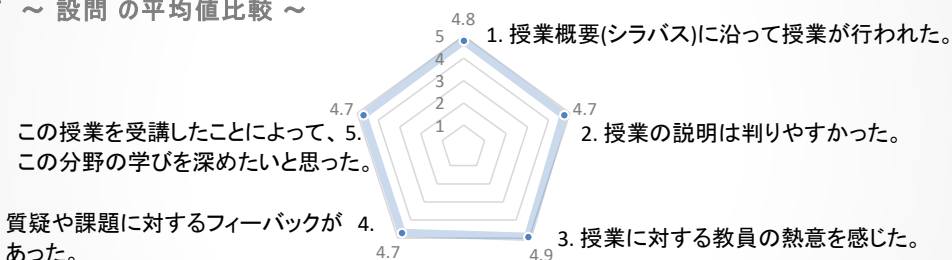
一方、学生の「学習に対する自己評価」では、「取り組み姿勢」や「問題解決する力が身についた」が4ポイント台であるのに比べ、授業外学習(予習や復習)時間は3.4ポイントであり、時間数にはかなり幅があった。「給食計画論」の内容は短大で初めて学ぶ分野も多いため、今後の授業外学習のさらなる充実が望まれる。

②課題と展望(授業改善方策)

配布資料や説明については、現行方法を継続する。また、「理解度確認テスト」の解説も引き続き実施していく予定である。「進捗が早く、ついていくのに必死でした」という意見があったが、予習や復習のポイントを明示し、一層の授業外学習を促したい。

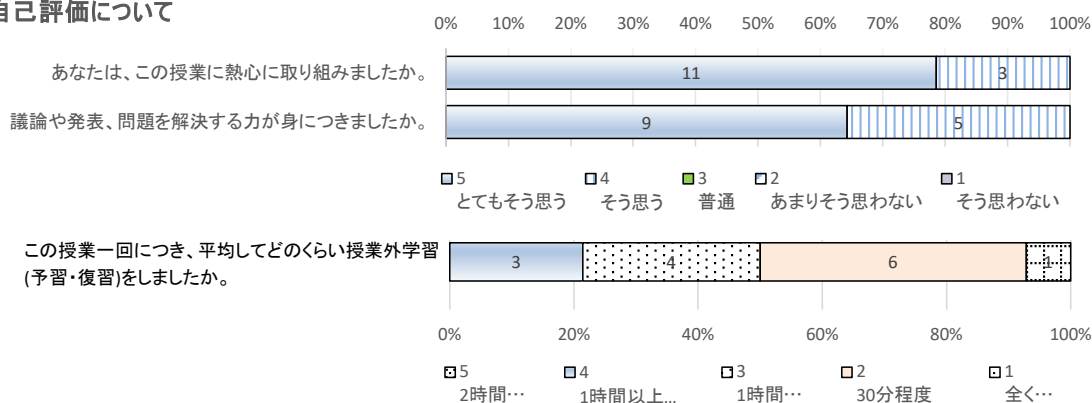
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	11	3	0	0	0	4.8
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	10	4	0	0	0	4.7
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	13	1	0	0	0	4.9
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	10	4	0	0	0	4.7
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	10	4	0	0	0	4.7
総平均							4.8

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	11	3	0	0	0	4.8
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	9	5	0	0	0	4.6
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	3	4	6	1	2.6

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

・回答した多くの学生が授業の在り方や成果を前向きに捉えていることが読みとれる。

その理由として・・・

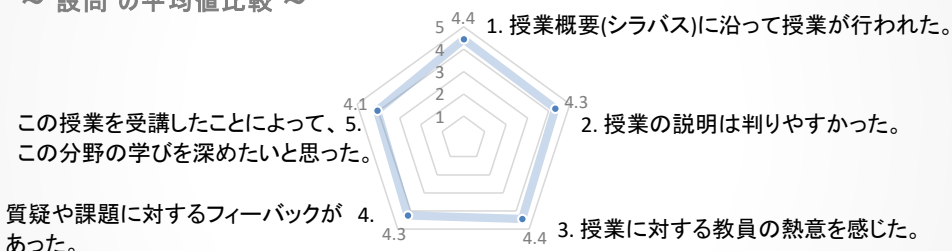
- ・授業内容を教職全般に関することを幅広く、具体的にわかりやすく扱ったこと。
- ・主体的で協働的な学修ができるように、個人やグループで調べたり、教材を作成したりしながら発表する時間を設けたこと。
- ・毎回の学習状況を小レポートとしてまとめさせ、評価コメントではできるだけよさを認めながらフィードバックできたことなどが挙げられる。

②課題と展望(授業改善方策)

・ほとんどの学生が授業に比較的真面目に取り組む、毎回の課題提出等もしっかりできていたが、前期末の試験結果を見ると、学修内容の定着が十分に図られていなかったことがわかる。今後、時間外学修の時間も含め、確かな学びに繋がるような授業の在り方を研究し実践していきたい。

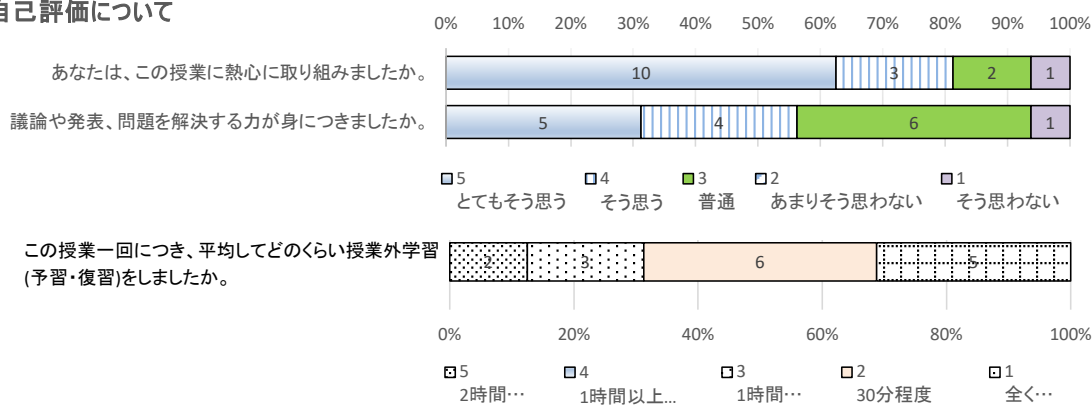
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	12	1	2	0	1	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	10	3	2	0	1	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	12	1	2	0	1	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	8	6	1	0	1	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	7	5	3	0	1	4.1
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	10	3	2	0	1	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	5	4	6	0	1	3.8
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	0	3	6	5	2.3

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

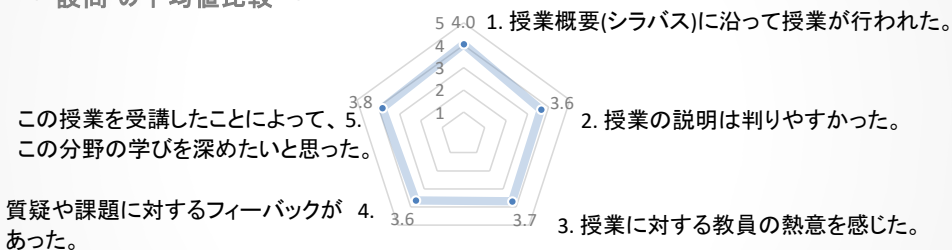
8回の科目で、履修者は17名、昨年の半分である。栄養教諭を目指す学生がメインであり、真面目に学んでいた。テキストに沿って、章ごとに配布したワークシートに大事な点をメモさせながら、パワーポイントを使って授業を行った。動画、資料等を豊富に用い、何をメモするかは、学生の感覚に任せたが、驚くほど詳細にまとめる学生もいる一方、ほとんど空欄の学生もいる。毎回の大事なポイントや流れだけは把握して欲しいと思い、熱を入れて講義したつもりであるが、何も考えず単にパワポの内容を写すだけの者も多い。内容を咀嚼して欲しいと思っている。

②課題と展望(授業改善方策)

パワポの内容を写す必要がないよう、プリントに大事な点を予め書いておくと、安心してメモすら取らない学生がいる。穴埋め方式などでは、その前後しか注目しない。どうやったら、内容を咀嚼しつつ授業に取り組むかは、今後の課題である。話し合い等の活動は、深まりが薄く、どうしたら、深い学びにつながるか今後の課題である。考查では、記述問題を具体的に数問予告し、自分の考えも含めて、十分に準備するよう伝えた。熱心に論述するもの、数行の文しか準備しない者があつたが、努力の成果がそのまま出るので、今後も継続したい。

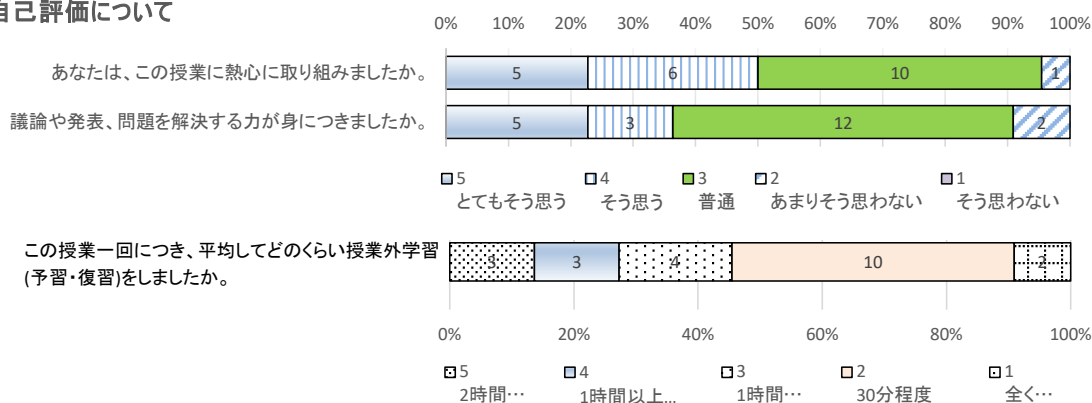
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	8	8	5	1	0	4.0
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	5	4	13	0	0	3.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	4	8	9	1	0	3.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	6	2	14	0	0	3.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	6	7	8	1	0	3.8
総平均							3.8

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	5	6	10	1	0	3.7
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	5	3	12	2	0	3.5
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	3	3	4	10	2	2.8

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

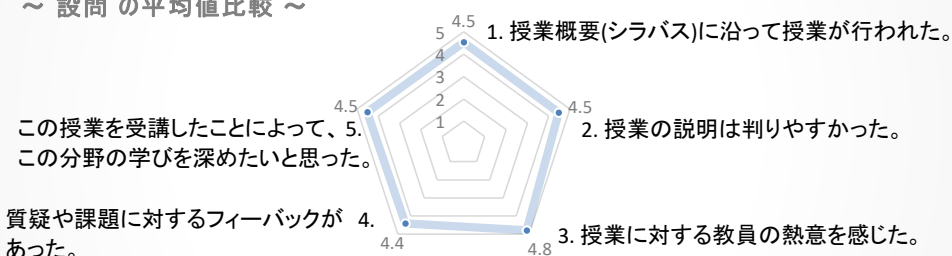
資格試験のための授業のため、テキストに忠実にまた、漏れのないように注意して授業を準備し行った。一昨年度より、毎回小テストを実施している。そのため、小テストの勉強を行った学生は、授業の復習ができて良かったと考える。しかし、多くの学生の小テストの点は悪かったため、小テストの勉強としてははいていなかったとみられる。また、定期試験準備にも小テストを活用してもらったようにした。単元毎の過去問プリントは配布したが、授業内でほとんど触れることができなかった。設問Ⅰの総平均は3.8であり評価として低めであったのは、内容が多岐にわたっていて難しく感じたためと考えている。

②課題と展望(授業改善方策)

今後も小テストは毎回行っていきたいと考えている。また、過去問については授業内でほとんど触れることができなかったため、来年は単配布している単元毎の過去問プリントを活用できればと考えている。授業内容が多いため工夫が必要と考えるが、授業内での解答の確認を行うことができれば、より理解が深まると考える。

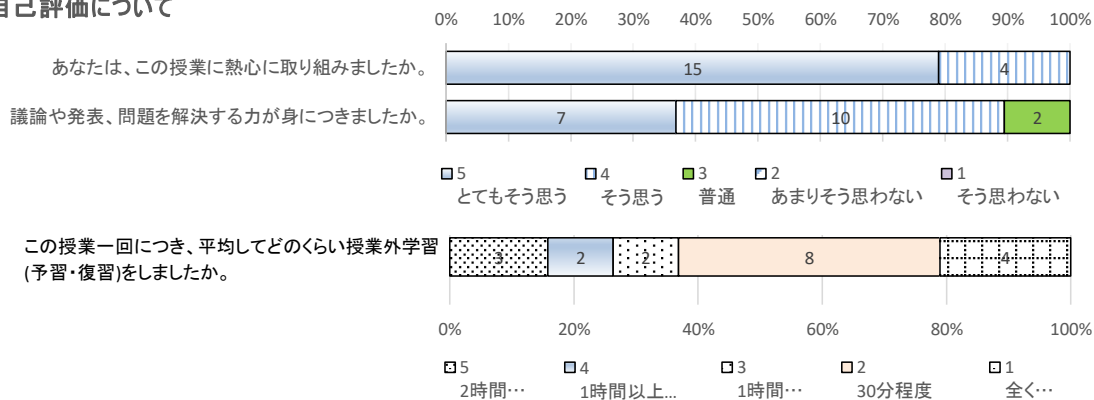
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	11	7	1	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	11	6	2	0	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	16	2	1	0	0	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	9	9	1	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	13	5	0	0	1	4.5
総平均							4.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	15	4	0	0	0	4.8
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	7	10	2	0	0	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	3	2	2	8	4	2.6

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

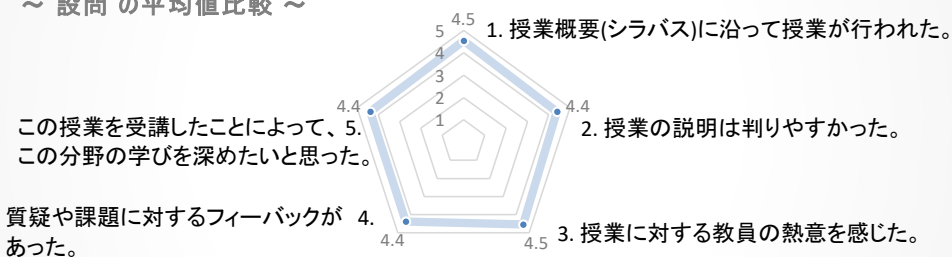
製菓製パン実習のアンケート調査から授業をしっかりと取り組んでいる事がわかった。

②課題と展望(授業改善方策)

質疑や課題に対するフィードバックの評価が低いことから 授業の内容の説明をする事をしっかりと答えようと考えております。

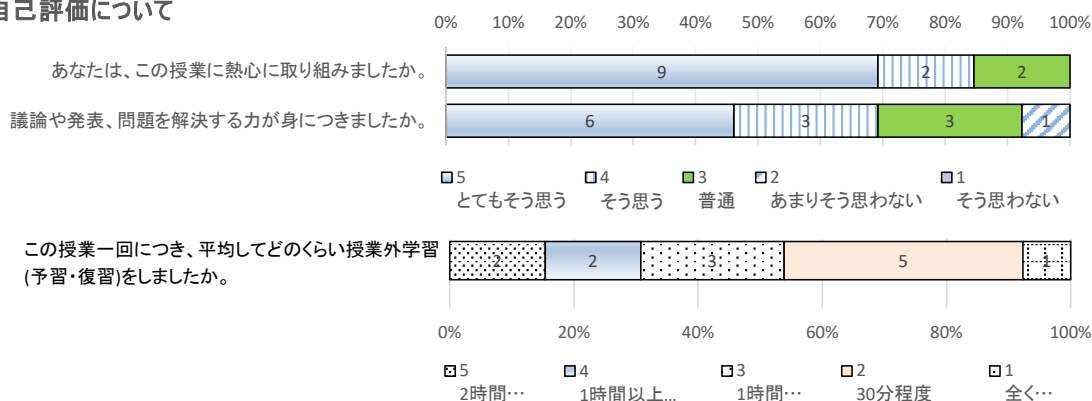
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	9	2	2	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	9	1	2	1	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	10	0	3	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	8	2	3	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	9	0	4	0	0	4.4
総平均							4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	9	2	2	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	6	3	3	1	0	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	2	3	5	1	2.9

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

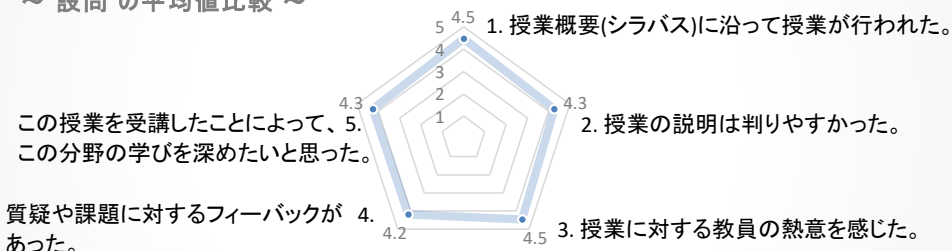
全設問平均が4.4と満足するには至っていないが、概ね安定した授業内容であり、学生にとっても理解できたのではないかとと思われる。しかし、設問Ⅰの(2)(4)(5)では4.5に至らず、改善・工夫が必要であると考えている。

②課題と展望(授業改善方策)

毎年、当科目の履修が1年次の前期であることから、特に調理師という職業に魅力を感じさせるような授業の展開が必要だと考えている。具体的には、テーマ毎に要点を丁寧に説明しながら板書を工夫することや、参考資料を用いながら客観的に理解を深められるようにしていきたい。

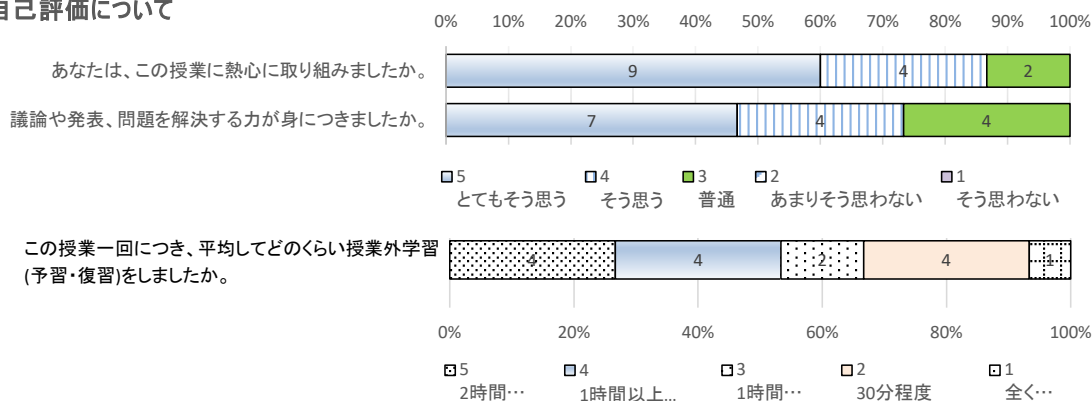
設問 I	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	9	4	2	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	7	6	1	1	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	9	4	2	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	8	3	3	1	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	8	4	2	1	0	4.3
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	9	4	2	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	7	4	4	0	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	4	4	2	4	1	3.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

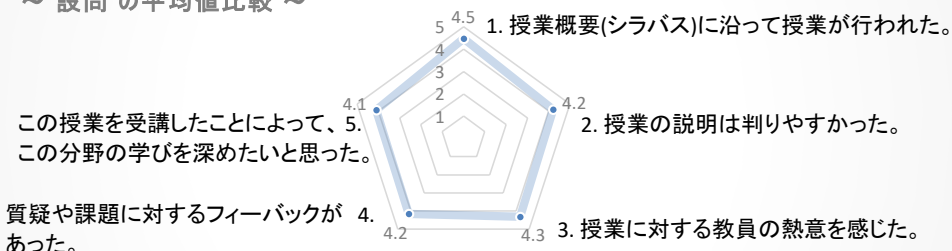
授業アンケートのどの項目においても「とても思う」が一番多い。これらから授業を肯定的に捉え学修できた学生が多いと感じる。しかし、今回の授業方法では理解し難い学生もいるため、個々の様子に合わせて対応する必要性を強く感じる。授業はシラバス通りに行っているがすべての学生がそのように回答していない。授業外学習については「全くしていない」学生もいるようであるが、提示課題の提出状況からするとそのような学生はいないはずである。これらのことから質問の捉え方が学生それぞれで異なるため、実際にディスカッション等しなければ授業方法のどの点に問題があるのかわかり難く、改善も難しいと感じる。

②課題と展望(授業改善方策)

このアンケートの回答をみても質問の捉え方は学生それぞれで異なるくらいなので、授業方法に対する感じ方は一層異なると感じる。ゆえに各学生の様子をしっかりと観察し、コミュニケーションを図り、個々に合わせた対応ができるよう自身の観察力や授業技術を高めるよう研鑽したい。

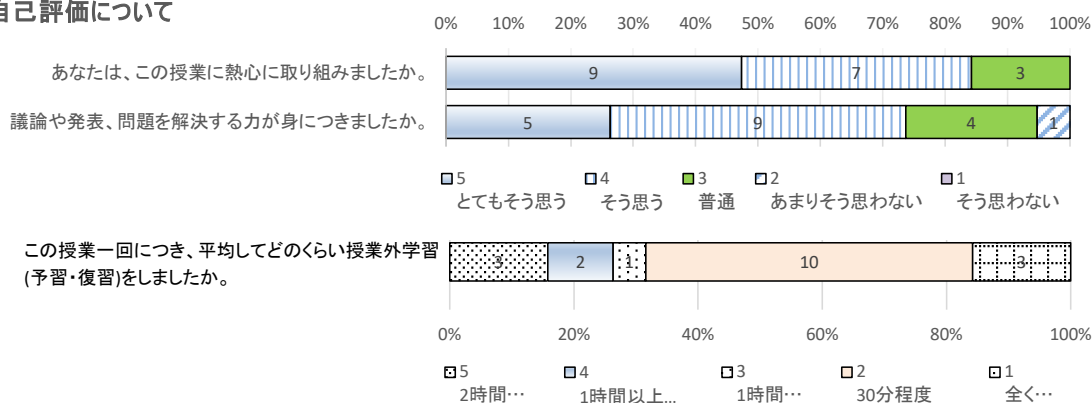
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	12	4	3	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	8	7	4	0	0	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	10	5	4	0	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	7	8	4	0	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	7	7	5	0	0	4.1
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	9	7	3	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	5	9	4	1	0	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	3	2	1	10	3	2.6

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

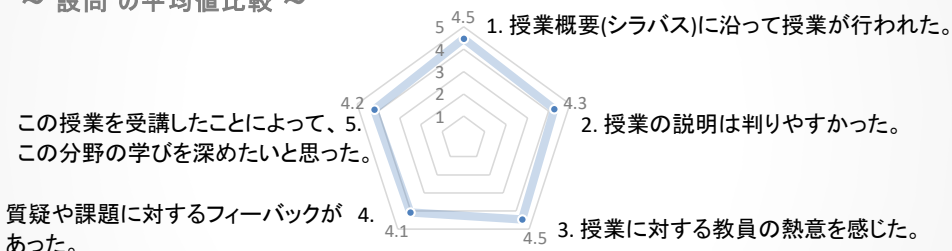
概ね良い評価を頂き、食品についての学びを得ていることがわかったが、学生自ら興味を持ち、学びを深めたいと思ってもらえるような工夫が必要であると感じた。プリントをわかりやすくまとめることや、食材から料理まで発展できるようにしていきたい。

②課題と展望(授業改善方策)

プリントをわかりやすくすることや、授業内容も食材から料理にまで発展できるようにしていきたい。この授業では、小テストを3回実施したが、予習復習の時間が短い人が多いため、項目ごとに実施することも検討していきたい。

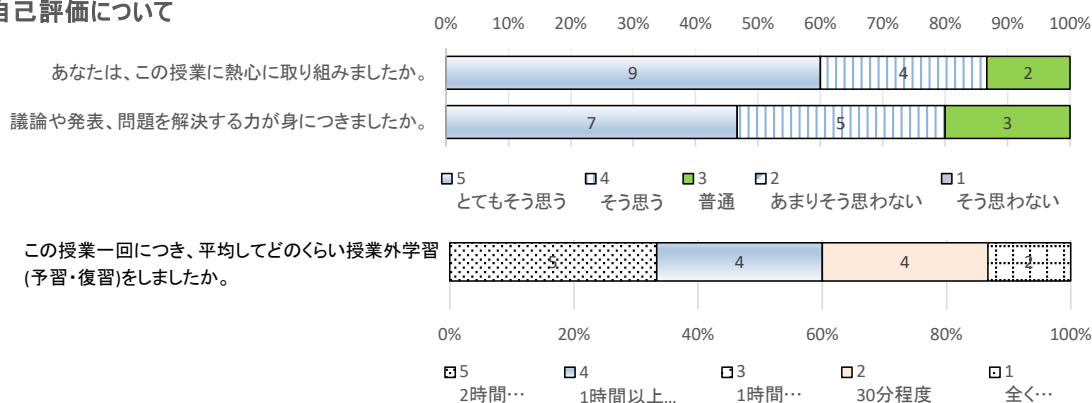
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	9	4	2	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	7	6	1	1	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	8	6	1	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	6	5	3	1	0	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	7	5	2	1	0	4.2
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	9	4	2	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	7	5	3	0	0	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	5	4	0	4	2	3.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

授業アンケートのどの項目においても「とてもそう思う」が一番多い。これらから授業を肯定的に捉え学修できた学生が多いと感じる。しかし、今回の授業方法では理解し難い学生もいるため、個々の様子に合わせて対応する必要性を強く感じる。

授業外学習については「全くしていない」学生もいるようであるが、提示課題の提出状況からするとそのような学生はいないはずである。これらのことから質問の捉え方が学生それぞれで異なるため、実際にディスカッション等しなければ授業方法のどの点に問題があるのかわかり難く、改善も難しいと感じる。

②課題と展望(授業改善方策)

このアンケートの回答をみても質問の捉え方は学生それぞれで異なるくらいなので、授業方法に対する感じ方は一層異なると感じる。ゆえに各学生の様子をしっかりと観察し、コミュニケーションを図り、個々に合わせた対応ができるよう自身の観察力や授業技術を高めるよう研鑽したい。

科目コード: 5105

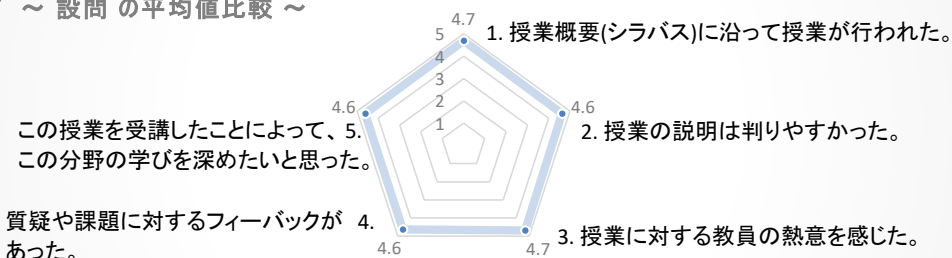
科目名 基本調理実習(日本料理)

回答者数: 16 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 実習 担当者 福田 馨(他)

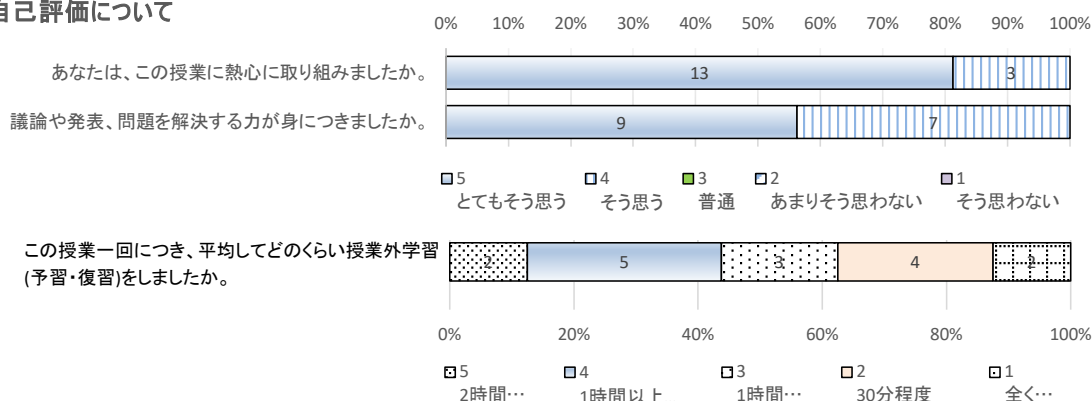
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	11	5	0	0	0	4.7
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	10	6	0	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	11	5	0	0	0	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	10	6	0	0	0	4.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	11	4	1	0	0	4.6
総平均							4.7

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	13	3	0	0	0	4.8
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	9	7	0	0	0	4.6
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	5	3	4	2	3.1

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

履修者全員から回答を得られなかったが、アンケート結果より、総平均は4.7であり、学生の満足度は保てたのではないかと推測する。時間外学習での取組み項目の数値が3.1と高い数値ではないことは、後期授業に向けて今後検討が必要と考える。

②課題と展望(授業改善方策)

時間外学習では、空き時間を有効活用できるよう、練習しやすい環境を整備することにも努めたい。また、全員からアンケートの回答を得よう、後期は前期よりも促しが必要。

また、自由記述に数名記載があり、要望については取り入れられるよう、先生方に相談していきたい。

科目コード: 5106

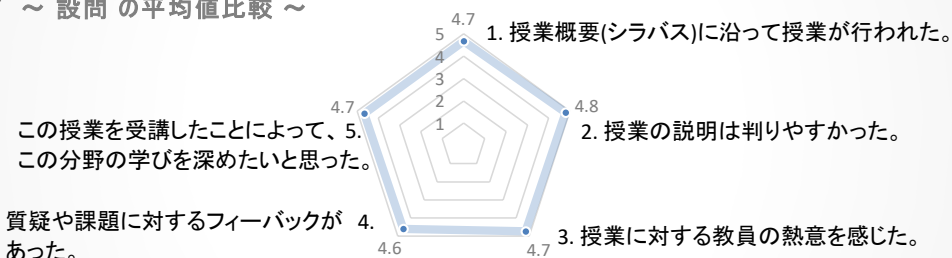
科目名 基本調理実習(西洋料理)

回答者数: 15 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 実習 担当者 田中辰也(他)

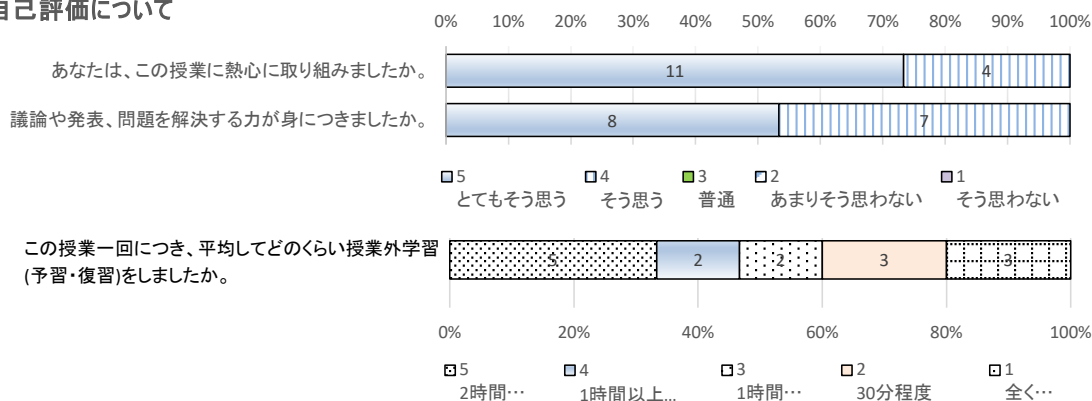
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	10	5	0	0	0	4.7
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	12	3	0	0	0	4.8
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	11	4	0	0	0	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	9	6	0	0	0	4.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	10	5	0	0	0	4.7
総平均							4.7

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	11	4	0	0	0	4.7
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	8	7	0	0	0	4.5
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	5	2	2	3	3	3.2

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

アンケート結果より、総平均が4.7であり、「授業概要」の学習目標に到達できたと考えている。しかし、設問Ⅱ、(3)この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたかの設問については平均3.2に留まっており、時間外学修が定着していないことが課題であると考えることができる。時間外学習のフィードバックを増やす等の仕組みを検討し時間外学習の習慣化を目指したい。

②課題と展望(授業改善方策)

アンケートのポイントと技術習得レベルが必ずしも比例しているとは言えず、調理技術の定着にバラつきがあると感じている。全員が積極的に自ら取り組む姿勢を引き出し進路選択の参考になるよう技術習得の支援に努めたい。技術習得には繰り返しの訓練が必要であり、全調協調理技術検定の課題等を活用して修得支援に努めたいと考えている。

科目コード: 5107

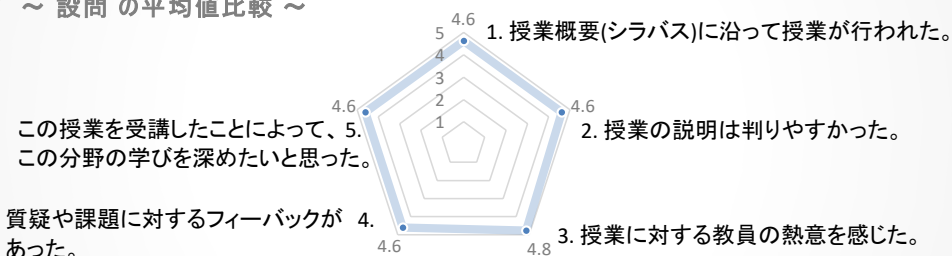
科目名 基本調理実習(中国料理)

回答者数: 13 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 実習 担当者 大越光雄(他)

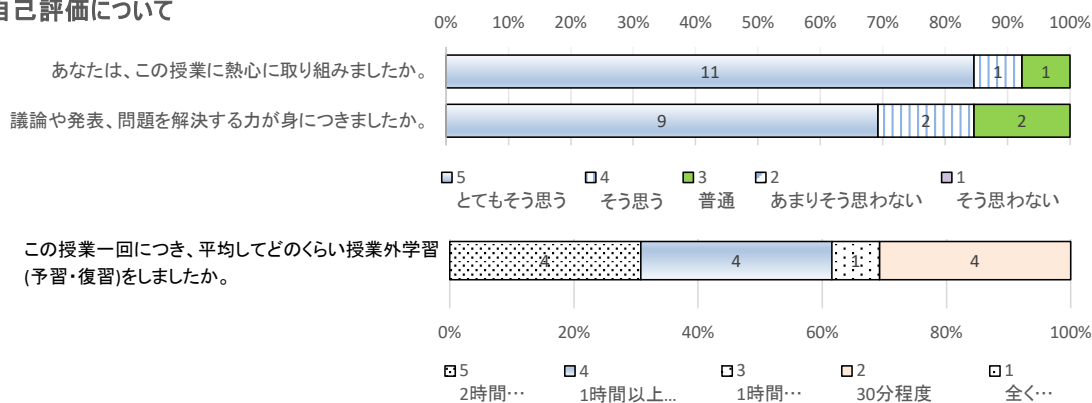
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	10	1	2	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	9	3	1	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	11	1	1	0	0	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	9	3	1	0	0	4.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	10	1	2	0	0	4.6
総平均							4.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	11	1	1	0	0	4.8
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	9	2	2	0	0	4.5
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	4	4	1	4	0	3.6

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

授業アンケートによる評価は、全項目の総平均が4.6と、概ね学生にとって授業内容が理解できたものと思われる。授業についての設問Ⅱについては、学生に興味・関心を持って臨ませることを重点目標として授業外学習の課題を作成したが、平均3.6とやや少ないと感じている。結果全般としては、学生が興味をもって意欲的に取り組んでくれたものと思っている。

②課題と展望(授業改善方策)

各項目全体について4.5以上に上げられるように工夫していきたい。特に授業外学習への具体的な取り組みなど。

科目コード: 5108

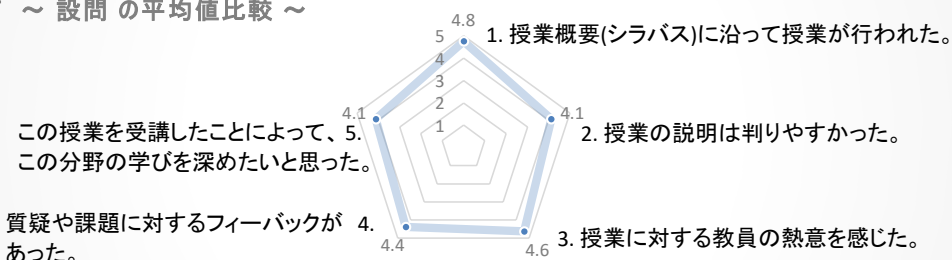
科目名 食品学実習

回答者数: 8 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 実習 担当者 田中章男

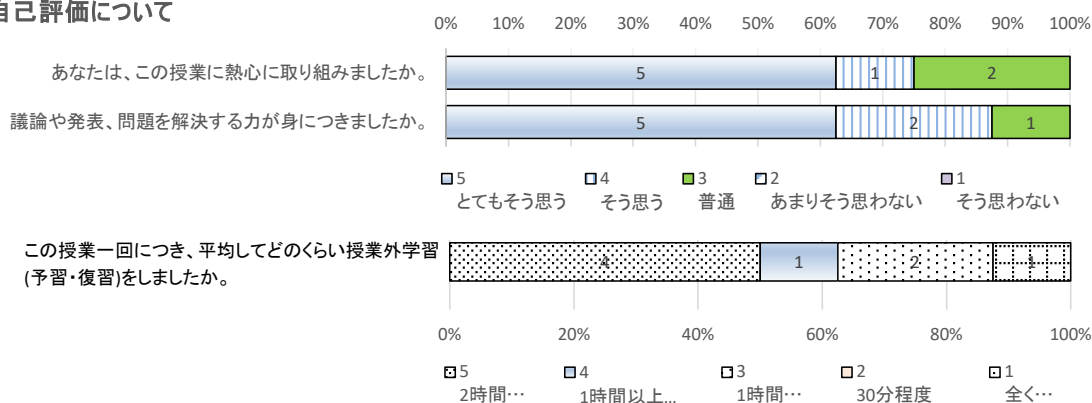
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	6	2	0	0	0	4.8
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	4	1	3	0	0	4.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	6	1	1	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	4	3	1	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	4	1	3	0	0	4.1
総平均							4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	5	1	2	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	5	2	1	0	0	4.5
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	4	1	2	0	1	3.9

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

どの項目に対する回答でも、学生がまずまずの満足度がみられること、さらにどの項目に対してもバランスよく回答されていることなどからして、今回の講義では学生は食品に含まれている化学成分について理解できていることがうかがわれる。特に、実習講義では、毎回ごとに実習の意義や重要性を力点として教えたつもりである。「あまりそう思わない」や「思わない」の項目を回答した学生がいなかったことは良かったと考えられる。

②課題と展望(授業改善方策)

学生がさらに興味を抱けるような内容の実習項目を考えて設けたい。

科目コード: 5109

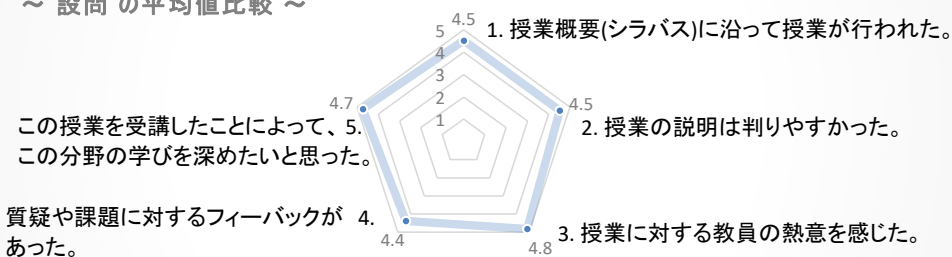
科目名 製菓・製パン実習 I

回答者数: 23 名

学科・学年: 健1年 授業形態: 実習 担当者 米澤澄子

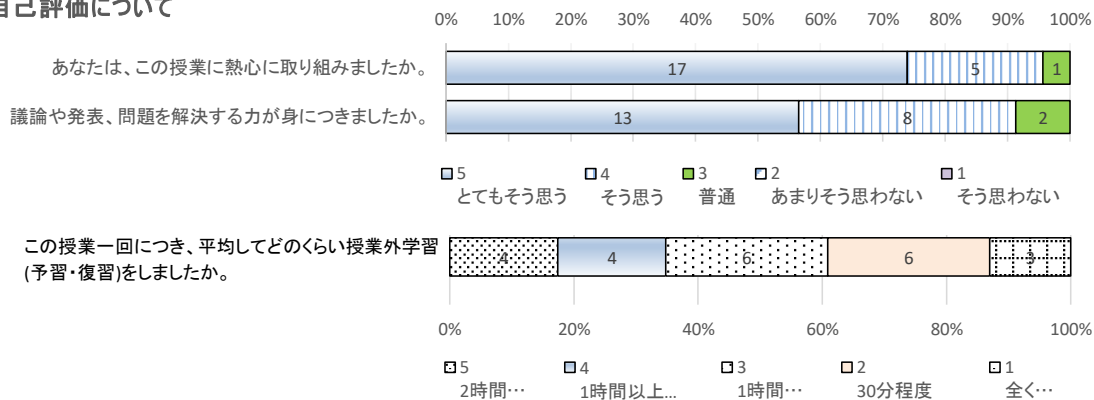
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	15	5	3	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	13	9	1	0	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	20	2	1	0	0	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	13	6	4	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	18	4	1	0	0	4.7
総平均							4.6

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	17	5	1	0	0	4.7
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	13	8	2	0	0	4.5
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	4	4	6	6	3	3.0

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

製菓製パン実習の授業アンケート調査で興味ある授業が出来たのでないかと考える。

②課題と展望(授業改善方策)

もう少しわかりやすい授業内容と説明を心掛ける。

科目コード: 2200

科目名 健康2年 専門科目

回答者数: 677 名

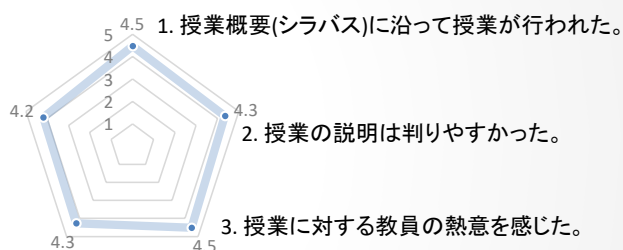
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	390	227	55	0	5	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	341	246	75	9	6	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	411	210	50	1	5	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	344	203	107	18	5	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	321	199	133	9	15	4.2

総平均 4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～

この授業を受講したことによって、5.
この分野の学びを深めたいと思った。

質疑や課題に対するフィードバックが 4.
あった。



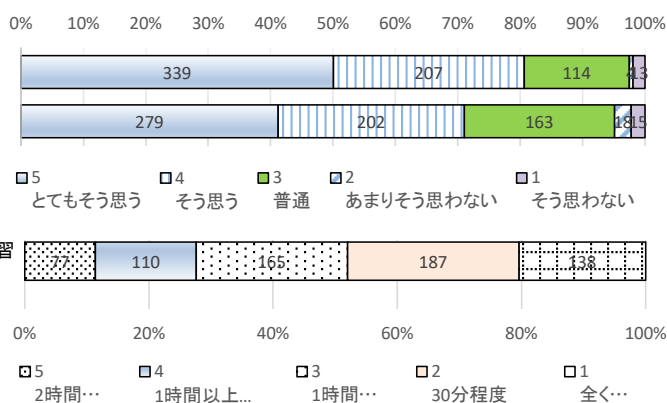
設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	339	207	114	4	13	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	279	202	163	18	15	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	77	110	165	187	138	2.7

2. 学習に対する自己評価について

あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。

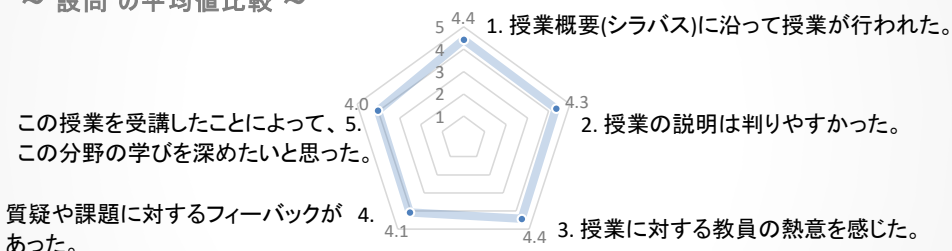
議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。

この授業一回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。



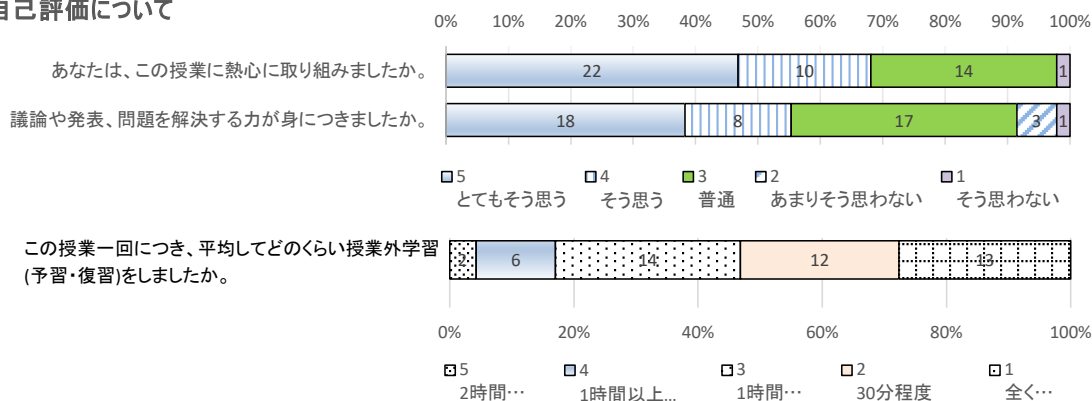
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	27	13	7	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	24	16	6	1	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	27	14	5	1	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	20	13	12	2	0	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	21	9	15	1	1	4.0
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	22	10	14	0	1	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	18	8	17	3	1	3.8
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	6	14	12	13	2.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

公衆衛生学Ⅱでは、わが国における社会保障と社会福祉および公衆衛生に係る法令と疫学に関する基礎知識を習得することと、わが国における公衆衛生の現状を把握し、国際的対比から、その問題点を考察することにポイントをおいて講義を進めた。

アンケートの結果では、昨年度の各項目の総平均3.8ポイントに対比し、今年度は総平均4.3ポイントと、0.5ポイントの増加があった。従来の年度総平均は4.0ポイント前後であり、コロナ禍の影響による授業形態の調整と補填を図ったことで、講義目的をほぼ達成したものと捉えている。学生の受講態度は概ね真面目で熱心であった。

②課題と展望(授業改善方策)

次年度においても、従来年度の授業方式で、必要に応じてはシラバスの変更を図り、講義を実施したい。学生諸君には、事前に講義プリントを配布しますので、各自、予習と復習に勉め、理解度を高めることに期待する。

科目コード: 2202

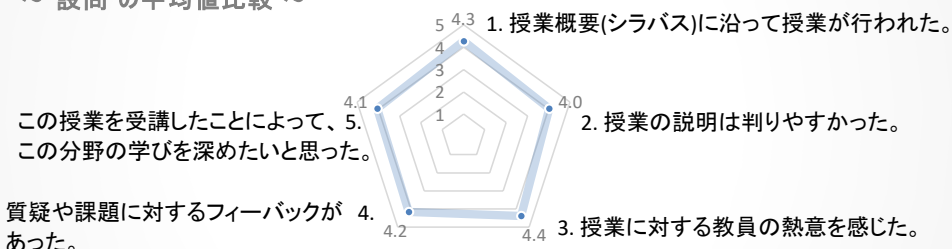
科目名 生化学

回答者数: 70 名

学科・学年: 健2年 授業形態: 講義 担当者 田中政巳

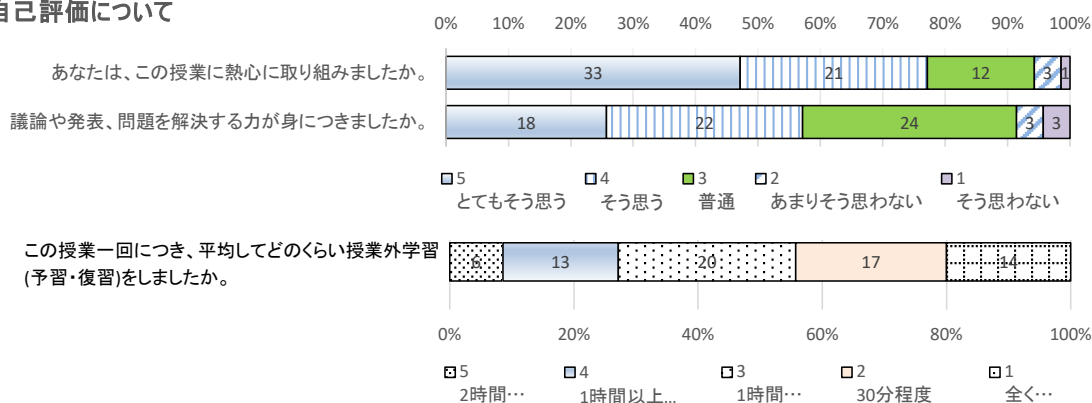
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	28	35	6	0	1	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	24	30	11	4	1	4.0
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	35	29	5	0	1	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	30	26	11	2	1	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	29	21	17	1	2	4.1
総平均							4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	33	21	12	3	1	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	18	22	24	3	3	3.7
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	6	13	20	17	14	2.7

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

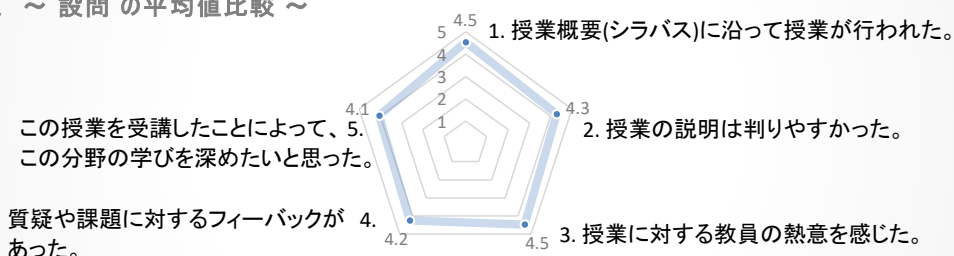
「授業の説明は分かりやすかった」の評価が低かった。配付する資料の図表を大きくし、書き込みやすくしたが、また要点は繰り返し説明するよう心がけたが、分かりやすさには必ずしも繋がらなかったようである。また、説明に十分な時間がとれず、理解しづらかった項目もあったものと思われる。また「この分野の学びを深めたいと思った」の評価も低かった。栄養や栄養士と生化学の関連性をより伝えられるようにしなければならないと思う。

②課題と展望(授業改善方策)

配付する資料の図表等をさらに工夫し、また各項目の説明内容の量とバランスを検討して、説明が分かりやすくなるよう努めたい。また時間外学習の時間1時間程度以下が約70%であった。生化学の内容は各項目が密接に関連するので、復習して理解をしておくことが必要である。課題など復習のための時間外学習増加につながるものをさらに課していく必要があると思う。質問されることで自身の理解度が把握できるとの記述もあり、質問の仕方・量を工夫していきたい。

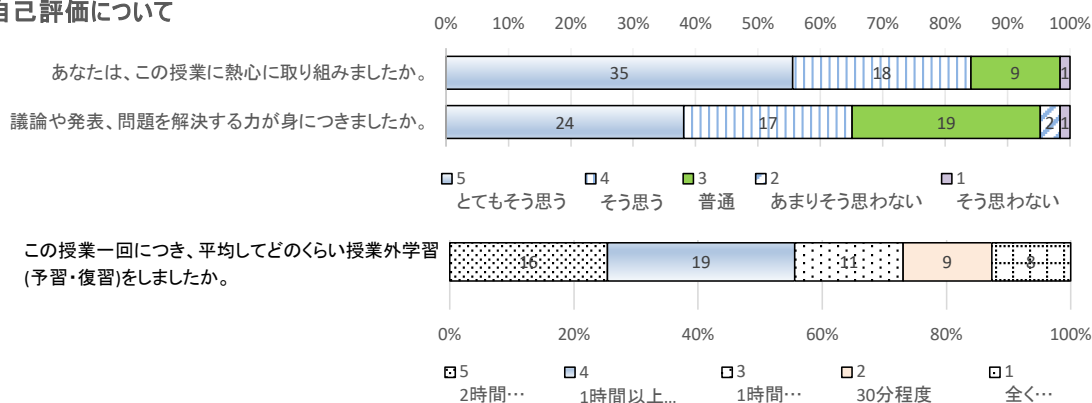
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	36	25	2	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	28	26	8	1	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	34	25	4	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	30	20	11	2	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	26	17	19	0	1	4.1
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	35	18	9	0	1	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	24	17	19	2	1	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	16	19	11	9	8	3.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

実験内容や実験操作が難しいとの指摘があった。一度の説明では実験内容や実験操作を理解するのが難しかった場合があったためと思われる。

②課題と展望(授業改善方策)

各実験開始前の説明について、まず実験の目的と実験手順について、時間をかけてより平易な説明を心掛けるとともに、理解をできているかを実験班ごとに確認しながら実験を進めるようにしたい。また、実験操作については、試薬の希釈や濃度計算などの説明は最小限にとどめ、学生が(実験班ごとに)主体的に考えて方法や操作を理解してから実験を進めるようにした。来年度も学生が主体的に取り組む部分をさらに検討・増やして、実験内容や関連する生化学の内容を深く理解できるようにしていきたいと思う。

科目コード: 2204

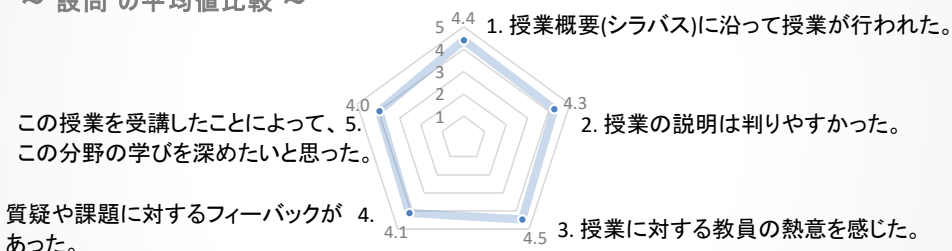
科目名 病理学

回答者数: 60 名

学科・学年: 健2年 授業形態: 講義 担当者 本藤 良

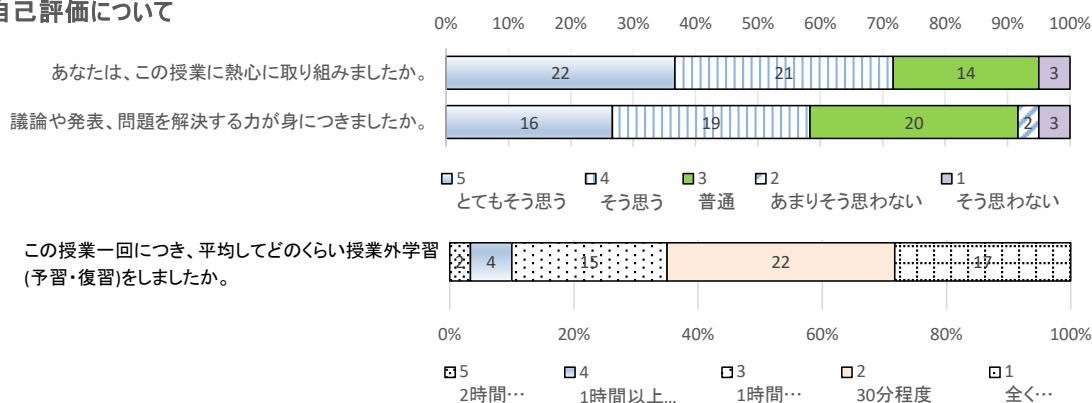
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	32	22	5	0	1	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	28	23	7	1	1	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	35	20	4	0	1	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	25	20	13	1	1	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	21	22	14	0	3	4.0
総平均							4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	22	21	14	0	3	4.0
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	16	19	20	2	3	3.7
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	4	15	22	17	2.2

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

病理学は、一般に難易度の高い学科目であり、疾病の成り立ちを知る上で臨床領域とも深く係わる重要な基礎学科目である。学生諸君には、栄養士として、医療関連領域においても活用できる必要基礎知識を習得すること、他の関連専門学科目との整合性を図る上での資料として役立てるため、パワーポイントとその配布プリントを基に講義を進めた。

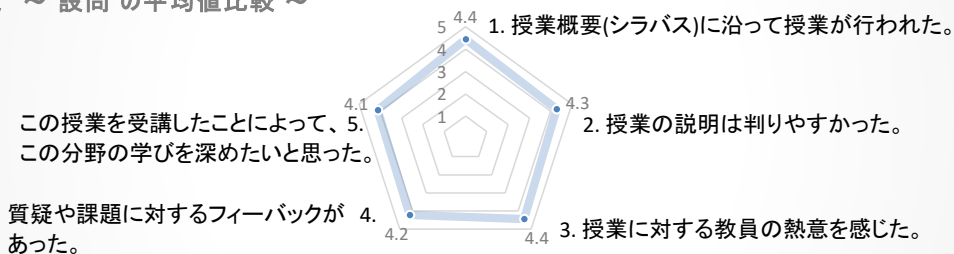
アンケートの結果では、昨年度の各項目の総平均4.0ポイントに対比し、今年度は総平均4.2ポイントで、例年ほぼ同等の結果であった。コロナ禍の影響に対応した授業形態の調整と補填を図ったことで、講義目的をほぼ達成したものと捉えている。学生の受講態度は概ね真面目で熱心であった。

②課題と展望(授業改善方策)

次年度においても、従来年度の授業方式で講義を実施したい。学生諸君には、事前に講義プリントを配布しますので、各自、予習と復習に勉め、理解度を高めることに期待する。

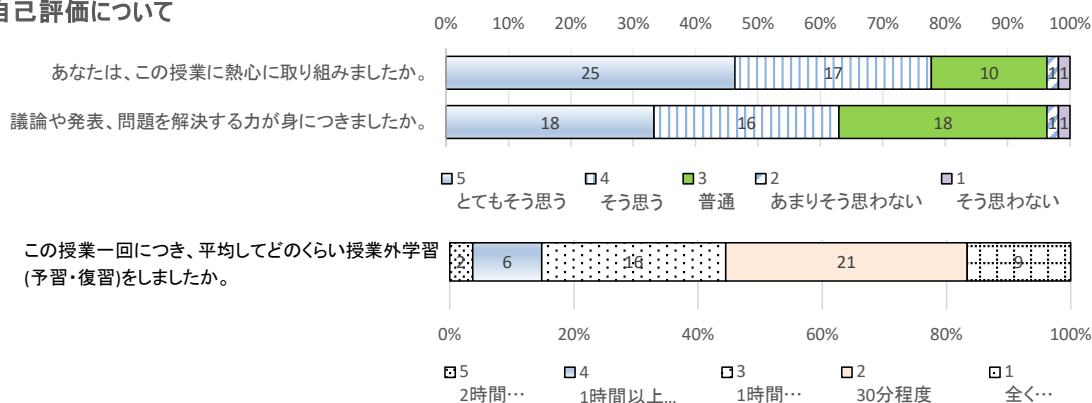
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	30	18	6	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	26	19	7	2	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	30	18	6	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	25	17	11	1	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	25	14	13	1	1	4.1
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	25	17	10	1	1	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	18	16	18	1	1	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	6	16	21	9	2.5

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

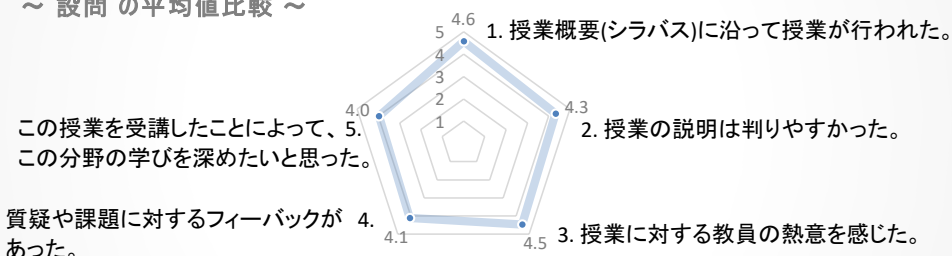
授業外学習(予習・復習)に充てる時間が、30分程度以下の割合が30%、と、やや短い学生の割合が高いことが読み取れます。この結果から、学生諸君の習熟度のさらなるアップを図る方策の必要性を感じており、次年度の課題とし、改善を図ります。

②課題と展望(授業改善方策)

今年度、授業内確認テスト(15分の小テスト)を3回、実施しましたが、この回数を増やすことで、学生諸君が予習・復習を行う動機付けにしたい。また、本学の学生諸君のニーズを的確に捉え、さらに分かり易い授業の実施に努めてまいります。

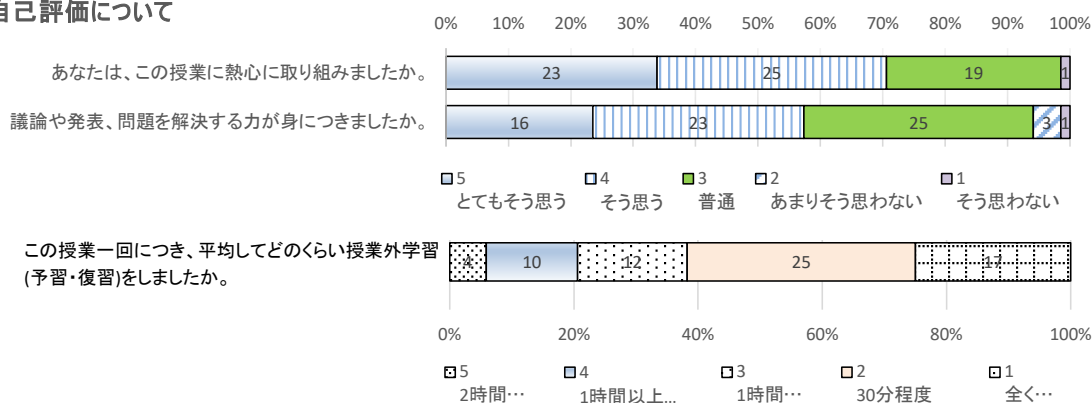
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	43	21	4	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	32	26	10	0	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	38	24	6	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	24	30	11	3	0	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	24	24	15	4	1	4.0
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	23	25	19	0	1	4.0
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	16	23	25	3	1	3.7
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	4	10	12	25	17	2.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

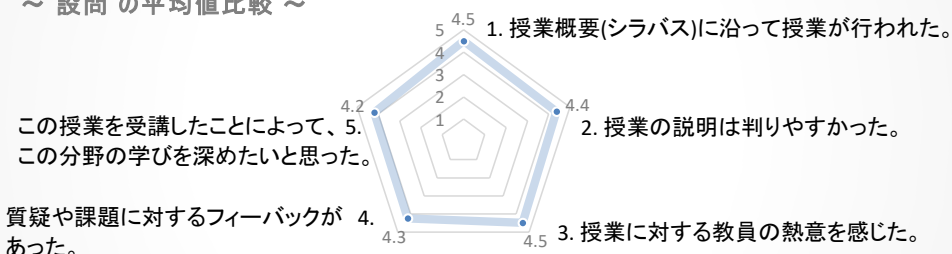
授業に対する取り組みはまずまずだが、授業時間外学習についての取り組みの姿勢が今一つであった。フィードバックを即時に行う目的で、アンケート集計のシステムを用いて前時の振り返りを課題提出とした。学習時間は不十分な学生もいる中、しっかり取り組む学生が少数いた。学習到達度からみると、まだまだ学習時間の確保が必要と考えられます。

②課題と展望(授業改善方策)

臨床医学、解剖生理学、基礎栄養学、応用栄養学など、多くの専門科目と関連があり、興味がなければ取り組みづらい科目である。学習内容が複雑、単に記憶するだけでなく、応用力を身につけ、この科目の履修の重要性が伝わる授業内容としましたが、内容も範囲も多いため、更なる改善が必要だと思いました。

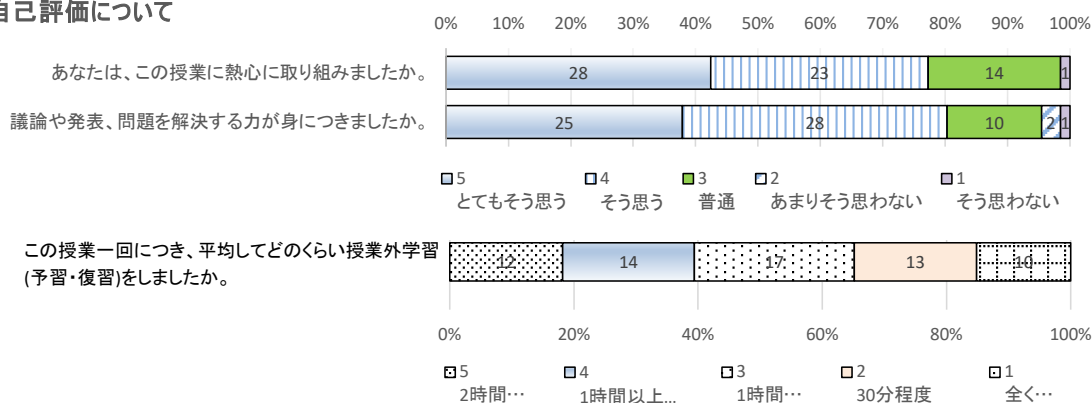
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	37	25	4	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	33	24	9	0	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	37	24	5	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	30	25	9	2	0	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	31	20	13	1	1	4.2
総平均							4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	28	23	14	0	1	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	25	28	10	2	1	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	12	14	17	13	10	3.1

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

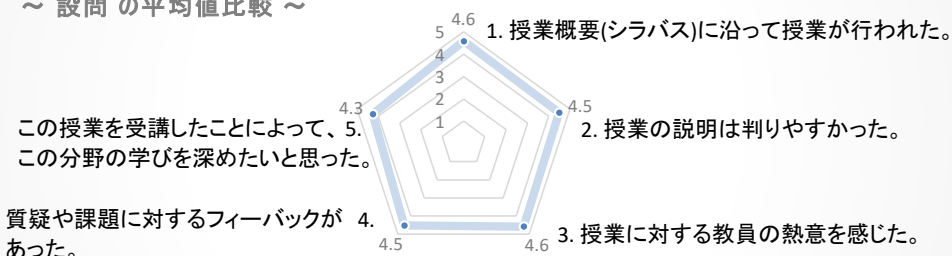
授業時間外学習についての取り組みの姿勢が今一つであった。実習後にはレポート提出があり、受動的に学習する時間を設けておりますが、学習時間の確保が必要と考えられます。

②課題と展望(授業改善方策)

臨床栄養学各論とリンクさせて、科目で学んだことを理解し、身につけやすいようシラバスを組んでおります。実習に備えての事前学習の時間が少ない傾向が見られたため、更なる指導が必要だと考えております。また、この科目の重要性についても深まる授業内容に工夫が必要だと考えております。

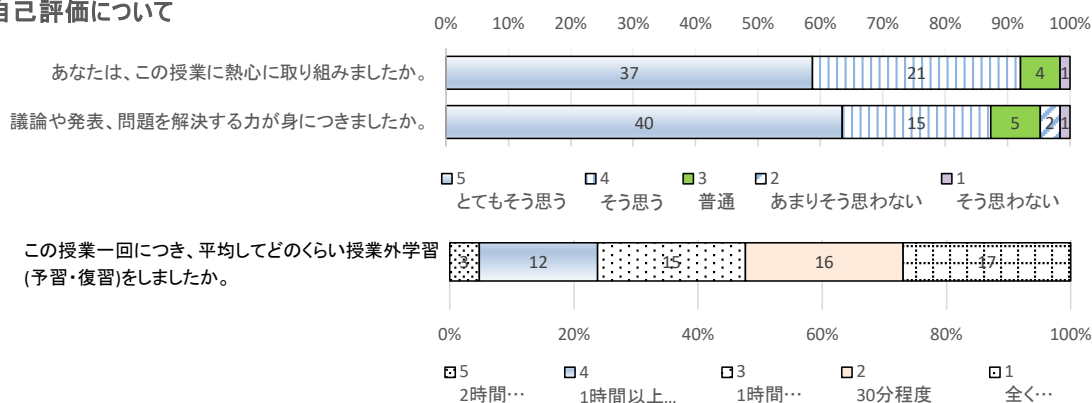
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	41	18	4	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	36	24	2	0	1	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	41	18	4	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	43	13	3	4	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	32	21	7	1	2	4.3
総平均							4.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	37	21	4	0	1	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	40	15	5	2	1	4.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	3	12	15	16	17	2.5

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

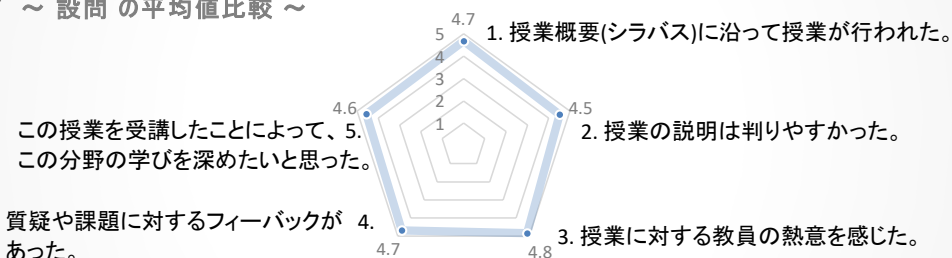
授業内で作業するワークについて説明しながら順を追ってワークを進めた。作業が進まない事は昨年も見受けられたが、原因も授業始めの説明を聞いていなくてわからない場合と聞いていてもわからない場合があるようではあった。もっとワークの内容を説明している時の学生の様子に細心の注意を払う必要性を感じた。本年からは、作業したワークを次の週の授業で返却するようにし、内容について説明するようにした。また、例年通りできるだけ多角的な見方が出来るような声掛けを心掛けた。設問 I の総平均が4.5であり、意図するところが通じたと感じている。また、本年度は媒体作製において、例年になくよく出来ていた。授業に対する姿勢と考えている。

②課題と展望(授業改善方策)

上記にも記載したが、ワークの内容を説明している時の学生の様子に細心の注意を払いたい。また、説明の仕方についても更に見直しをしていきたいと考えている。また、ワーク返却時の説明についても更に詳しく行っていきたいと考えている。来年度も媒体作製においてやりがいを感じるような授業を実施したいと考えている。

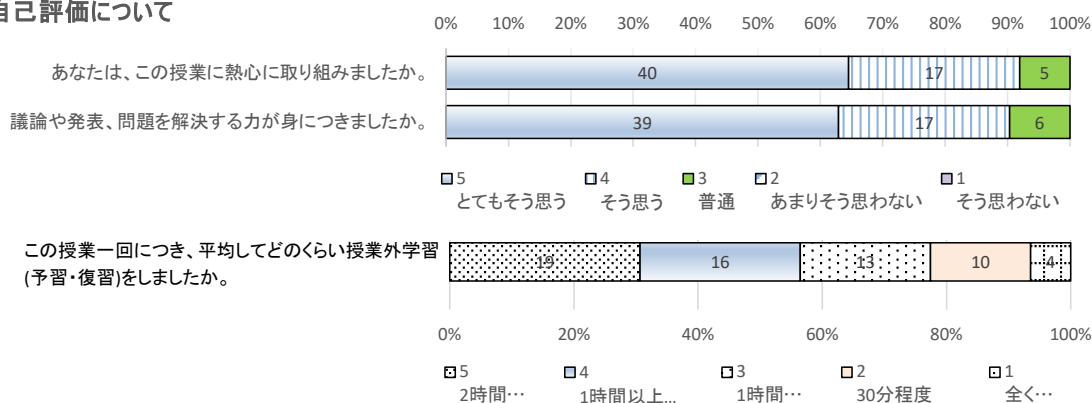
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	44	16	2	0	0	4.7
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	37	20	5	0	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	53	8	1	0	0	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	48	10	3	1	0	4.7
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	40	17	5	0	0	4.6
総平均							4.7

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	40	17	5	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	39	17	6	0	0	4.5
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	19	16	13	10	4	3.6

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

1年次の座学での学びを踏まえての実習でしたが、大多数の学生さんが予習・復習をしっかり取り組んでいたことから、たくさんの学びがあったと思います。

校外実習はもちろんですが、社会に巣立ってからこの実習で学んだことを思い出しながら取り組み、皆さんのさらなる成長に繋げることができると思いました。

②課題と展望(授業改善方策)

1年次の後期に1回だけではありましたが、実習室内の見学の時間を設けたことで、献立作成時の参考になったようでした。

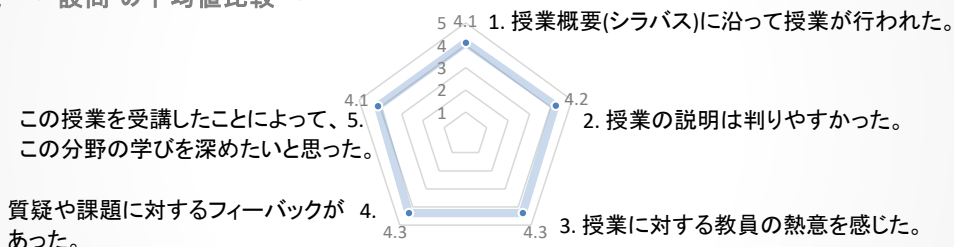
本年度は、公欠学生に対しての課題として、授業を録画し視聴した上でレポート作成をしてもらいました。この方法は、学生の皆さんには好評でした。

今後もこのような対応をすると良いかと思います。

私は非常勤でしたので、専任の教員がいらっしゃると学生の皆さんへきめ細やかな対応ができ勉強意欲も高くなったのではないかと思います。

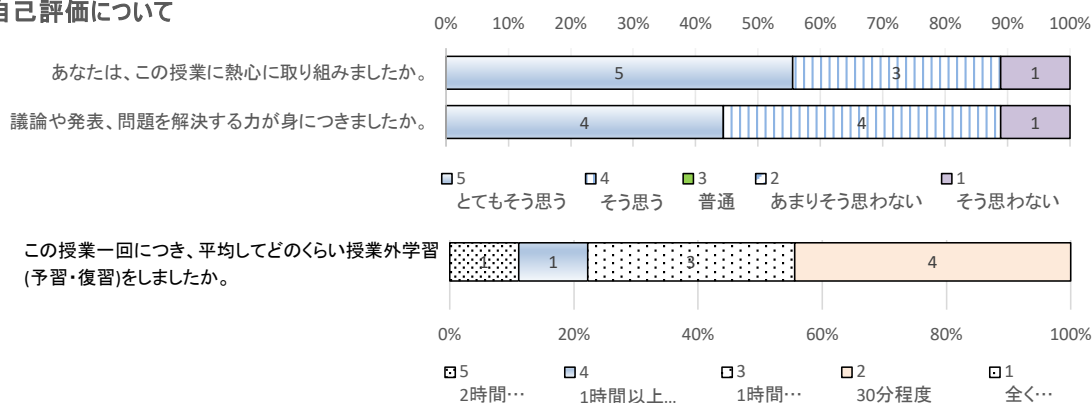
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	4	4	0	0	1	4.1
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	5	3	0	0	1	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	6	2	0	0	1	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	6	2	0	0	1	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	5	2	1	0	1	4.1
総平均							4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	5	3	0	0	1	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	4	4	0	0	1	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	1	3	4	0	2.9

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

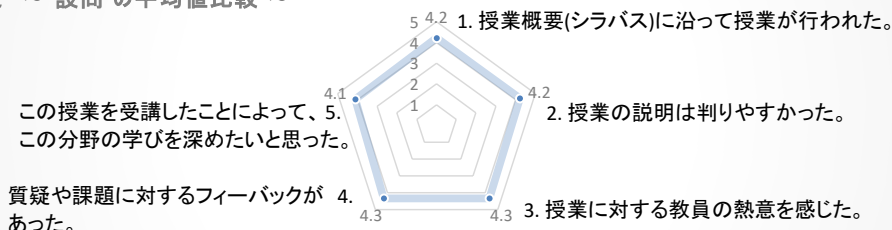
- ・比較的少人数の講義ではあったが、学生一人一人が毎回意欲的に取り組み、多くの課題についても熱心に取り組んでくれた。それぞれに質の高い作品を創り上げるなど、その成果も十分に認められた。
- ・自由記述の欄からも、時間外で取り組む課題等に対しても楽しみながら、そしてその有用性を感じて学修した様子がよく覗かれた。
- ※全体の評価を「1」として記入した学生が1名いるが、入力上の行き違いが想定される。
- 理由…数回前の授業で実施した中間評価では授業の在り方等について全員が高い評価をしていること。毎回の授業レポートでの授業評価や振り返り欄を見るとすべての学生が授業の在り方や成果について高いプラスに評価していること。
- ・自由記述欄からも、すべてが授業の成果を感じていると記入していること。
- ・今回のアンケートを他の科目と併せて授業内で極めて短時間で行ったことなど。

②課題と展望(授業改善方策)

- ・今後、より質の高い授業を実施していくために、栄養教諭としての指導法の在り方や教材の使い方、作成、指導案の具体について、よりわかりやすく扱っていきたいと考えている。学生の実態に応じた内容の精選についても考えたい。

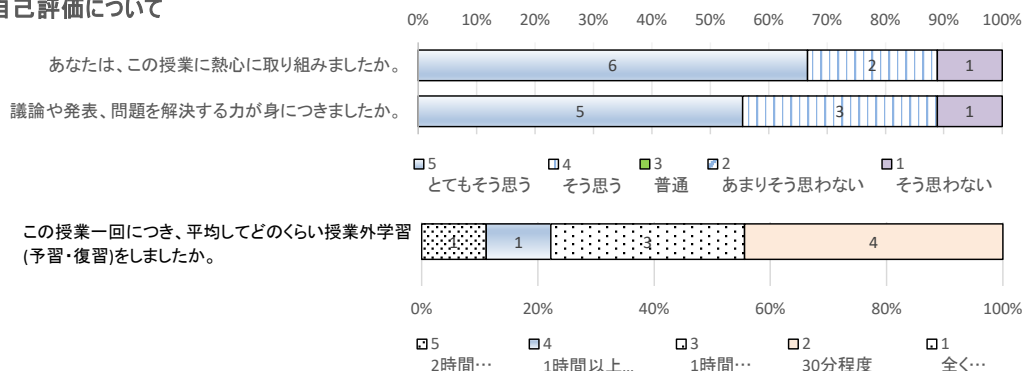
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	5	3	0	0	1	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	5	3	0	0	1	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	6	2	0	0	1	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	6	2	0	0	1	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	5	2	1	0	1	4.1
総平均							4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	6	2	0	0	1	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	5	3	0	0	1	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	1	3	4	0	2.9

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

アンケート結果から多くの学生が授業の成果を感じ取っているようだ。自由記述や下記の授業実態からも読み取れる。

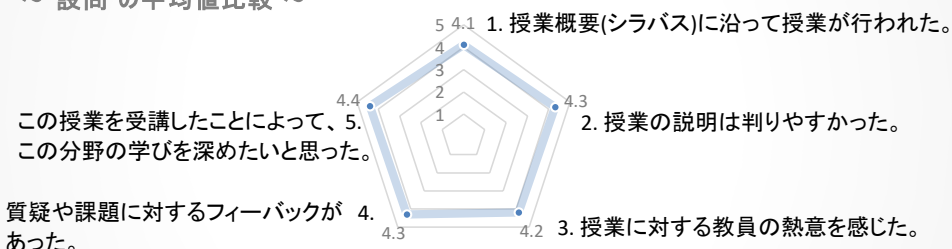
- ・授業の導入時に、アドラー心理学(1年・教育心理学で履修済み)をもとにして、子どもたちの現状や実態を踏まえた対応の在り方について学んだ。学生は内容に興味を示し、感想や意見を進んで発表してくれた。
- ・すべての学生が生徒指導・教育相談に関して取り上げた事例について真剣に考え、自らの意見を積極的に発表できていた。
- ・授業は、改訂されたばかりの「生徒指導提要(文部科学省)」をテキストとして活用したが、ポイントをよく理解し、その成果が最終の定期試験の成績としても顕著に表れていた。

②課題と展望(授業改善方策)

- ・本科目は、教育実習において一人一人の児童生徒と向き合う際に有効に働く要素が多く含まれていることから、今後もより実践的で具体的な内容をわかりやすく伝えていきたい。さらに毎時間の課題についても、個人やグループで考えたり話し合ったりする時間を設けるなどしながら、より内容を深めていきたい。

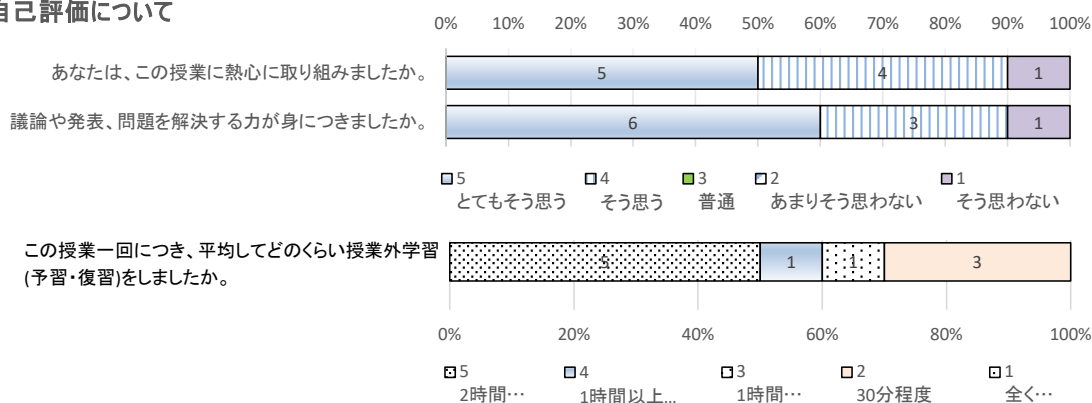
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	4	5	0	0	1	4.1
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	6	3	0	0	1	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	5	4	0	0	1	4.2
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	6	3	0	0	1	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	7	2	0	0	1	4.4
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	5	4	0	0	1	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	6	3	0	0	1	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	5	1	1	3	0	3.8

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

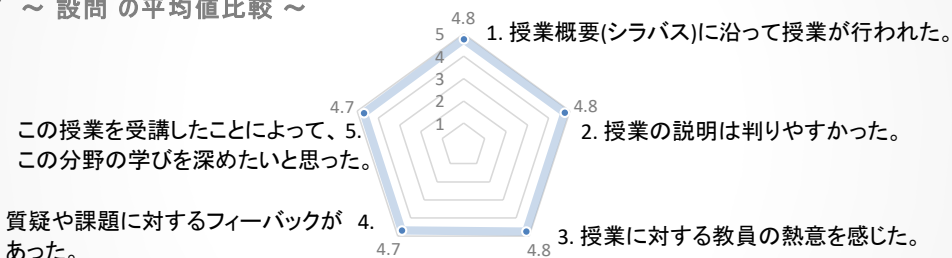
教育実習の心構えや内容、実際に行われている食育の指導などについての講義と、教育実習での研究授業実施に向けての学内での模擬授業を行いました。学生間の意見交換を行い、学びにつながるようにしております。授業時間外での学習時間が少ないことから、教育実習履修にあたり、事前指導をさらに充実させる必要があると考えます。

②課題と展望(授業改善方策)

授業外学習の時間の確保がやや不十分なため、教育実習に向けての学ぶ姿勢が定着できるよう指導が必要だと考えております。

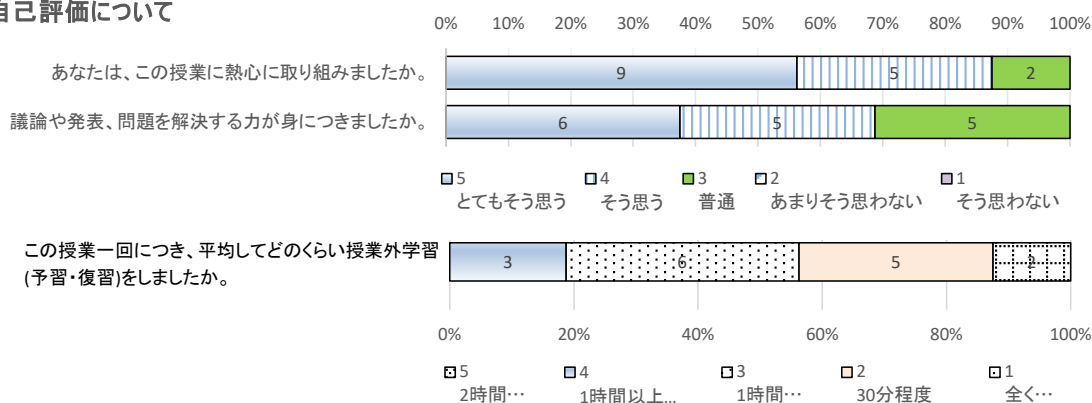
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	12	4	0	0	0	4.8
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	12	4	0	0	0	4.8
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	12	4	0	0	0	4.8
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	12	3	1	0	0	4.7
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	11	5	0	0	0	4.7
総平均							4.7

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	9	5	2	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	6	5	5	0	0	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	3	6	5	2	2.6

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

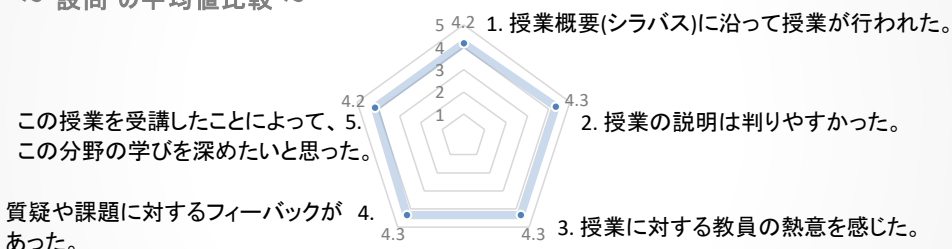
本授業は、フードスペシャリスト資格試験を受験希望の学生が主に受講している。殆どの学生たちは真剣に真面目に授業を受講してくれた。本授業は資格試験合格のための授業に焦点を絞ったため、浅く広くという講義内容であるが、さらに興味・関心を持てるような授業を展開できるよう授業内容を考えていきたい(総平均4.7)。

②課題と展望(授業改善方策)

本授業の学習内容は、試験対策の授業となり浅く広くの学習内容となっている。今年度は練習問題への取り組みを複数回実施するなど、本試験に向けて対策を立てながら授業をすることができた。昨年度は開講時期が後期となり、15回の授業を12月の本試験までに終了させるために、1週間に複数回の授業をやらざるを得なかった。これは、教員、学生にもなかなか厳しいスケジュールであった。今年度は前期開講となり、授業スケジュールもうまく調整しながら、授業運営ができたと思われる。後期には、認定試験を控えているので、情報があれば、履修学生に共有していきたい。

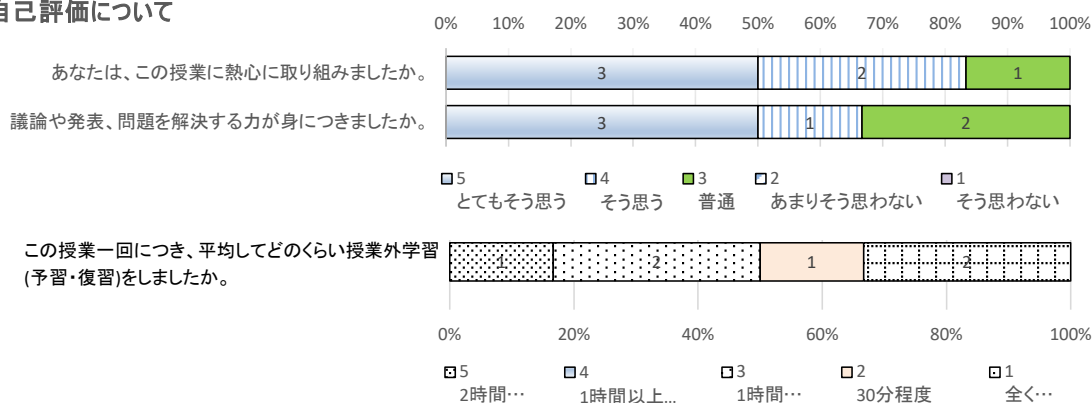
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	3	1	2	0	0	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	3	2	1	0	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	3	2	1	0	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	4	0	2	0	0	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	3	1	2	0	0	4.2
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	3	2	1	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	3	1	2	0	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	0	2	1	2	2.5

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

授業は、全15回のうち、後半8回を担当している。教科書内容を補足する新たな情報や追加項目に関するプリントを作成し、展開した。全項目、4ポイント台の評価を頂けたことから、教員側の説明や、熱意は概ね伝わったのではないと思われる。

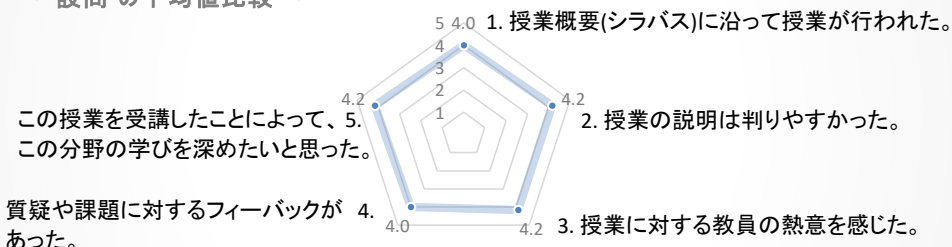
一方、毎回授業開始時に「小テスト」を実施していたにもかかわらず、学生の「学習に対する自己評価」では、授業外学習(予習や復習)時間は2.5ポイントと低く、学習時間数にはかなりの幅があり、「全くしていない」と回答した学生は3割の学生であった。

②課題と展望(授業改善方針)

教科書とそれを補完する追加資料作成に基づく授業展開は、継続して実施する。また、担当している小テストについては授業外学習(特に復習)の実施に繋がるような、事後学習の評価の方法について検討する必要があると考える。

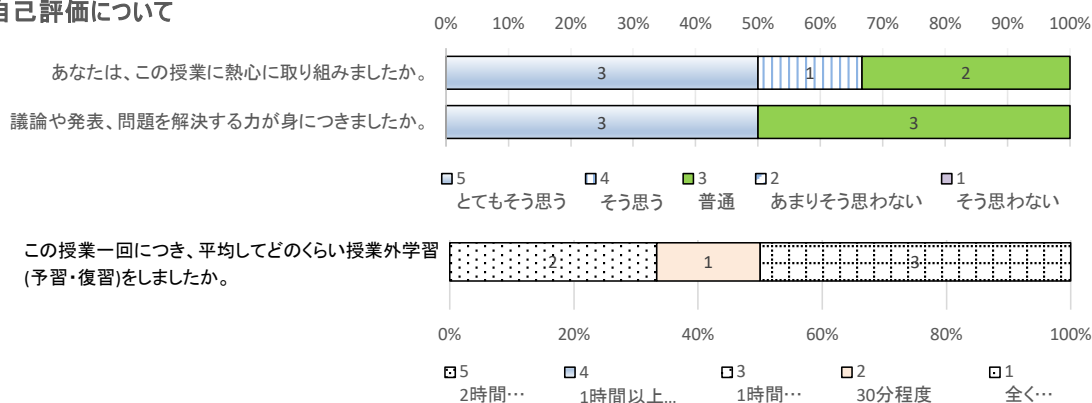
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	3	0	3	0	0	4.0
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	3	1	2	0	0	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	3	1	2	0	0	4.2
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	3	0	3	0	0	4.0
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	3	1	2	0	0	4.2
総平均							4.1

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	3	1	2	0	0	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	3	0	3	0	0	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	0	2	1	3	1.8

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

本科目は労働環境、労働衛生環境条件、さらに環境に伴う食生活などの重要な知識を多く学ぶ講義である。特に、地球温暖化が影響する食の問題などに力点をおいて講義している。しかし、環境条件が食料に大きく影響している現在についてかなり熱意をもってスライドを使用して講義しても、あまり興味を抱かない学生が多くみられるのは非常に心配している。高校での環境に関する教育にも問題があるのではないかと感じられた。ただアンケート結果からみられるのは、全体的にバランスよい評価なのでそこはよかったのではないかと考えられる。特に、「あまりそう思わない」や「思わない」の設問に回答している学生がいないのはそれなりの成果があったのではないかと考察する。

②課題と展望(授業改善方策)

さらに、今後の各環境と食生活との関連の重要性を課題などを与えることによってさらに厳しく鍛えていきたい。数回の講義ののちに、復習テストを実施して知識や関心度を高めていくよう努力したい。

科目コード: 5203

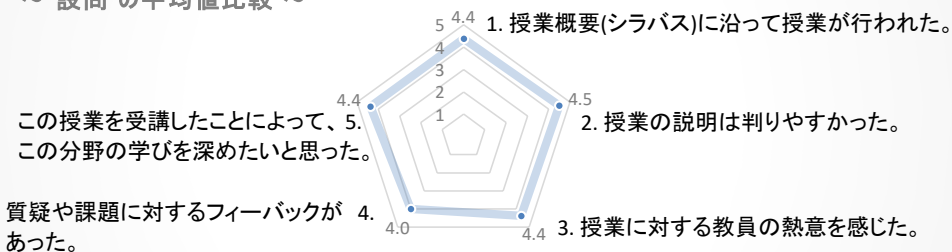
科目名 栄養の特性Ⅲ

回答者数: 8 名

学科・学年: 健2年 授業形態: 講義 担当者 西條奈緒美

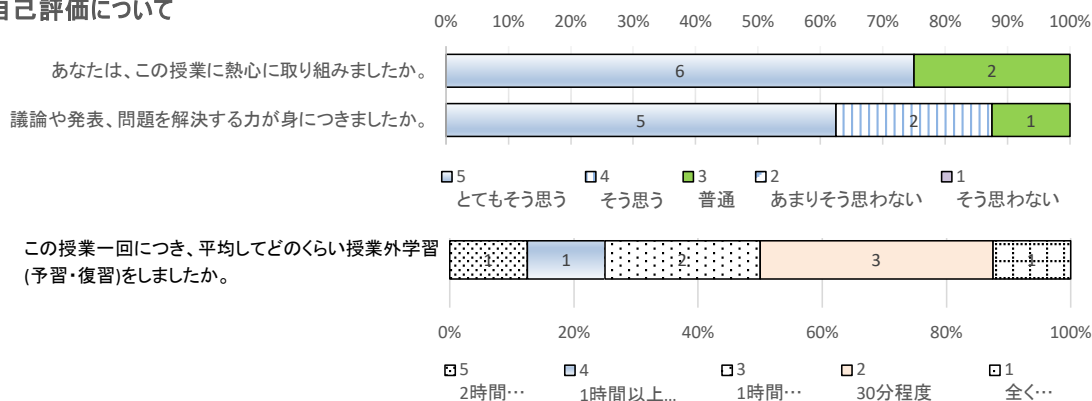
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	5	1	2	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	5	2	1	0	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	5	1	2	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	3	2	3	0	0	4.0
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	4	3	1	0	0	4.4
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	6	0	2	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	5	2	1	0	0	4.5
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	1	2	3	1	2.8

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

授業アンケートのほとんどの項目において「とてもそう思う」が一番多い。これらから授業を肯定的に捉え学修できた学生が多いと感じる。しかし、フィードバックに関しては他のアンケート項目よりもポイントが低い。これについては特に改善が必要である。授業外学習については「全くしていない」学生もいるようであるが、この科目ではそのようなことはあり得ないこれらのことから質問の捉え方が学生それぞれで異なるため、実際にディスカッション等しなければ授業方法についてどの点に問題があるのかわかり難く、改善も難しいと感じる。

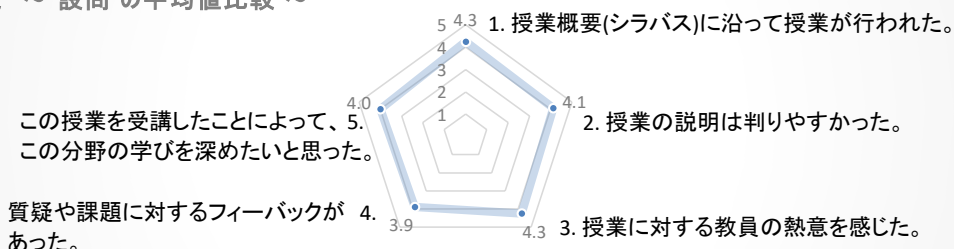
②課題と展望(授業改善方策)

このアンケートの回答をみても質問の捉え方は学生それぞれで異なるくらいなので、授業方法に対する感じ方は一層異なると感じる。ゆえに各学生の様子をしっかりと観察し、コミュニケーションを図り、個々に合わせた対応ができるよう自身の観察力や授業技術を高めるよう研鑽したい。

また、フィードバックに関しては適宜行うよう意識し、常に学生の声に耳を傾けるよう心がけたい。

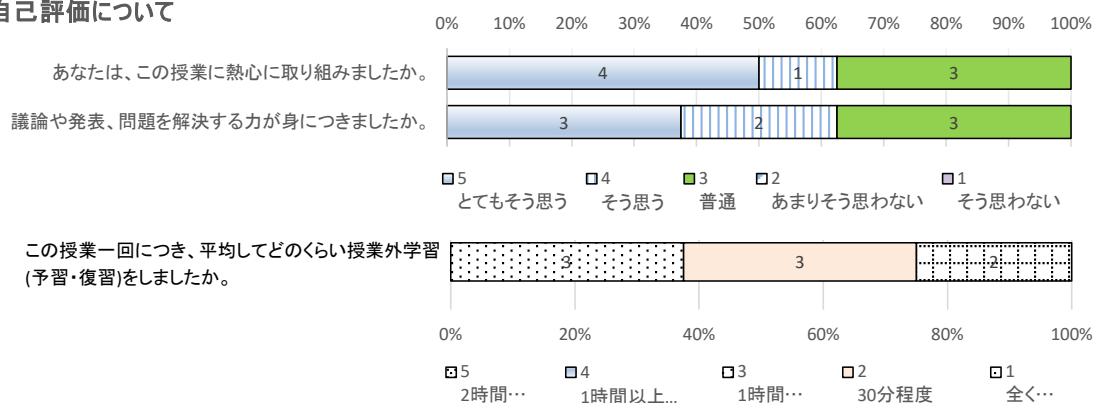
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	4	2	2	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	3	3	2	0	0	4.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	3	4	1	0	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	3	1	4	0	0	3.9
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	3	2	3	0	0	4.0
総平均							4.1

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	4	1	3	0	0	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	3	2	3	0	0	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	0	3	3	2	2.1

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

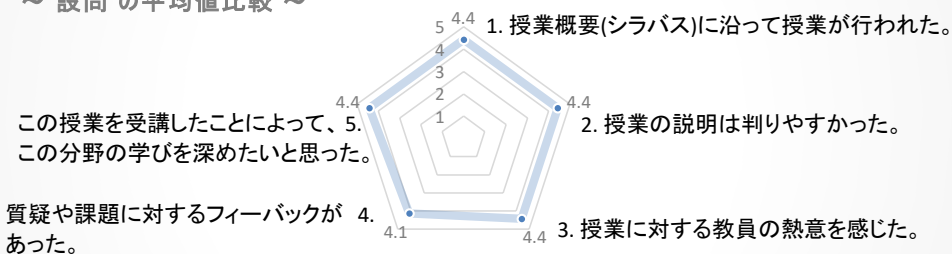
アンケート項目の4/5項目に対して4.0以上のポイントであり、概ね学習の成果は達せられたと思う。
授業内容は多岐に渡るが、学生の自己学習成果も4.0であり、学習の満足度も感じられる。

②課題と展望(授業改善方策)

授業では、教科書に沿った問題形式のプリントを作成し配布しているが、授業の各回毎に学生が学習成果を確認できる方式を考えていきたい。

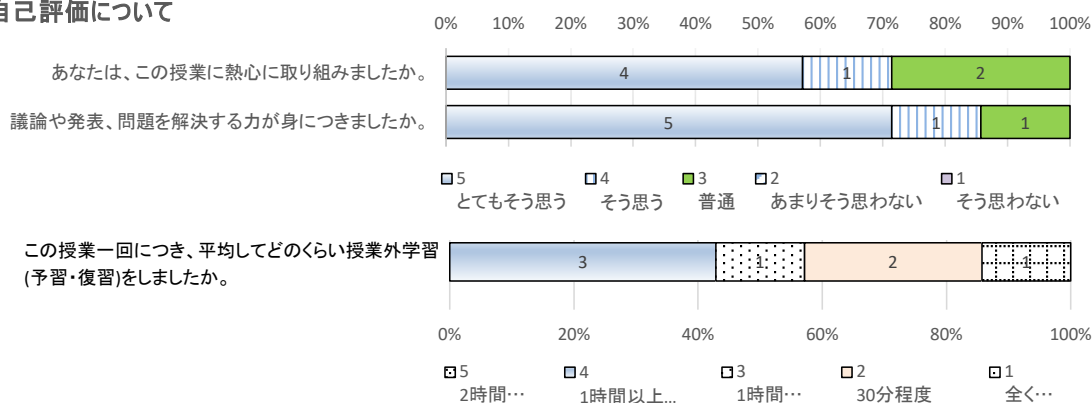
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	5	0	2	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	4	2	1	0	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	4	2	1	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	3	2	2	0	0	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	5	0	2	0	0	4.4
総平均							4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	4	1	2	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	5	1	1	0	0	4.6
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	3	1	2	1	2.9

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

授業アンケートのどの項目においても「とてもそう思う」が一番多い。これらから授業を肯定的に捉え学修できた学生が多いと感じる。しかし、フィードバックに関しては他のアンケート項目よりもポイントが低い。これについては特に改善が必要である。

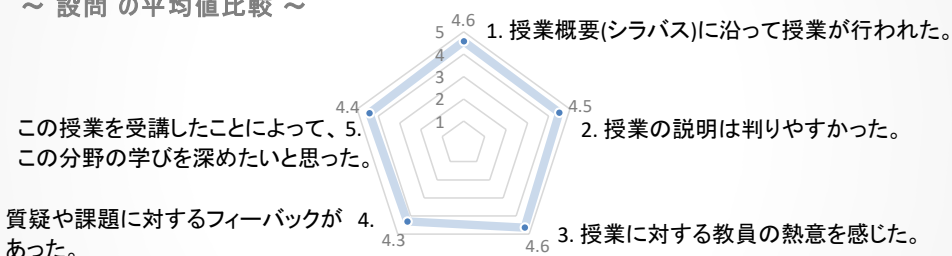
授業外学習については「全くしていない」学生もいるようであるが、この科目でそれは考えられない。これらのことから質問の捉え方が学生それぞれで異なるため、実際にディスカッション等しなければ授業方法についてどの点に問題があるのかわかり難く、改善も難しいと感じる。

②課題と展望(授業改善方策)

このアンケートの回答をみても質問の捉え方は学生それぞれで異なるくらいなので、授業方法に対する感じ方は一層異なると感じる。ゆえに各学生の様子をしっかりと観察し、コミュニケーションを図り、個々に合わせた対応ができるよう自身の観察力や授業技術を高めるよう研鑽したい。また、フィードバックに関しては適宜行うよう意識し、常に学生の声に耳を傾けるよう心がけたい。

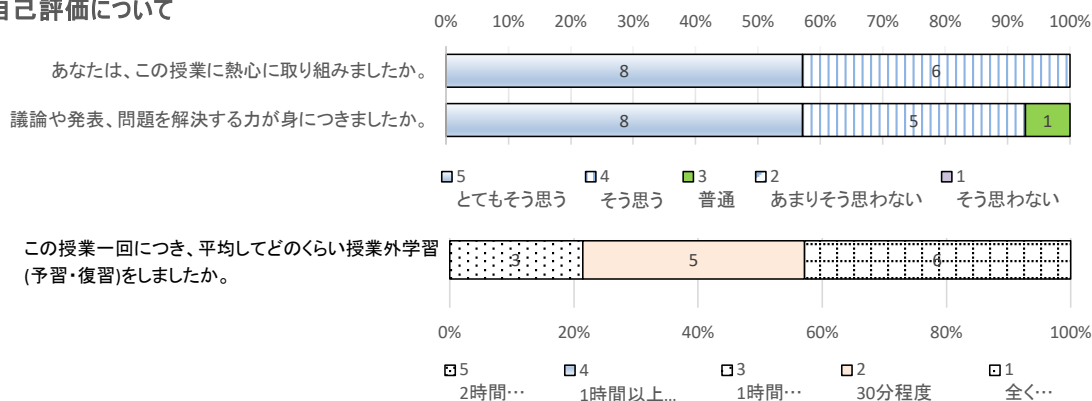
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	9	4	1	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	8	5	1	0	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	10	3	1	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	7	4	3	0	0	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	7	6	1	0	0	4.4
総平均							4.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	8	6	0	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	8	5	1	0	0	4.5
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	0	3	5	6	1.8

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

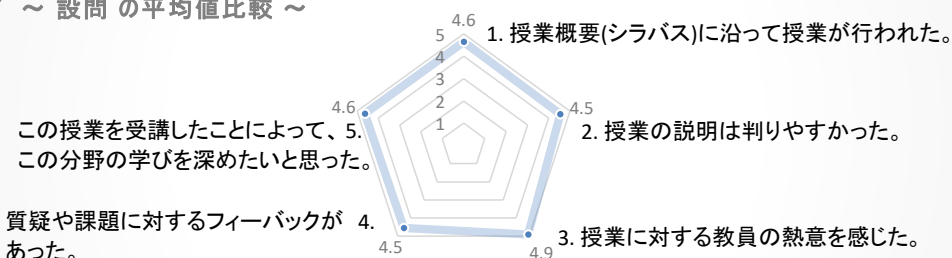
設問 I の5項目のポイントは4.3ポイントから4.6ポイントの範囲であり、総合平均は4.5ポイントであった。この事から学生の授業に対する満足度は高い水準で保たれており、「授業概要」の学習目標に到達できたと考えている。もっとも低い4.3ポイントであった「質疑や課題にフィードバックがあった」については、グループワーク以外に個別の課題を課すなどの工夫を考え今後の授業に活かしたい。

②課題と展望(授業改善方策)

大量調理に必要な知識として、専門の設備に関する知識や計算方法等を身に付けることができた。毎年グループワークを多く取り入れて授業を展開している科目であるが、班によってコミュニケーション力の向上に課題があると感じている。特にグループワークを中心に授業時間以外に取り組む内容もあり、協調性が重要になっているため、コミュニケーション力を向上させる内容を取り入れていく必要がある。

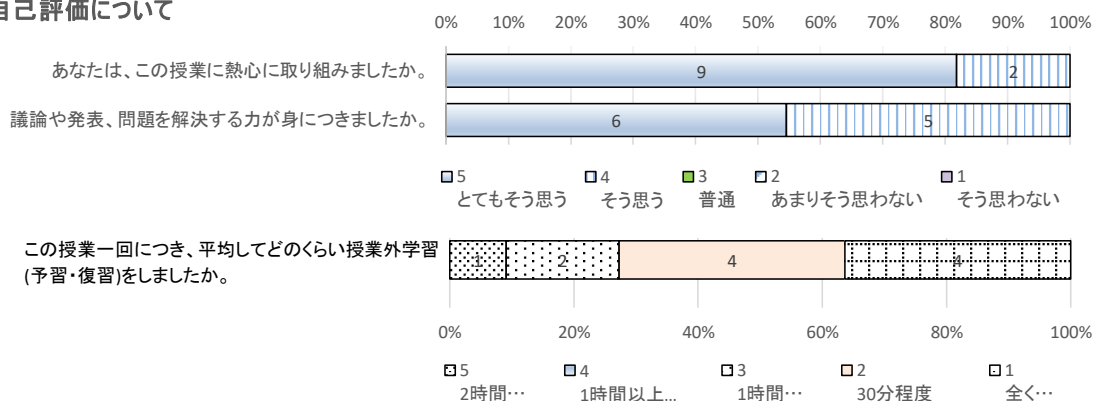
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	7	4	0	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	6	5	0	0	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	10	1	0	0	0	4.9
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	6	5	0	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	7	4	0	0	0	4.6
総平均							4.7

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	9	2	0	0	0	4.8
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	6	5	0	0	0	4.5
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	0	2	4	4	2.1

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

調理実習でのアンケート調査では、学生が真剣に取り組んでいることがわかり、基本技術はもとより、二年生なので一つ上の技術意識を持たせるような実習にしていきたい。同じ一皿でも独自性や想像力を持った考える料理を作れるように基本技術をしっかりと教えていく。学生には技術力のバラツキがあり丁寧に教えていく。多少時間がかかってもレベルアップに繋げていく。

②課題と展望(授業改善方策)

フィードバックでは、多くして頂き学生とのコミュニケーションや課題解決方法に努める。調理実習での料理を家庭で作るようにして復習として授業外学習として行い技術向上する。全調協調理技術検定のグレード習得支援に努める

科目コード: 5210

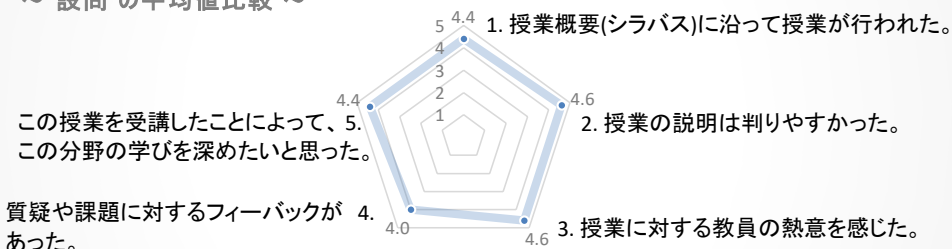
科目名 専門別調理実習 中国料理 I

回答者数: 5 名

学科・学年: 健2年 授業形態: 実習 担当者 大越光雄

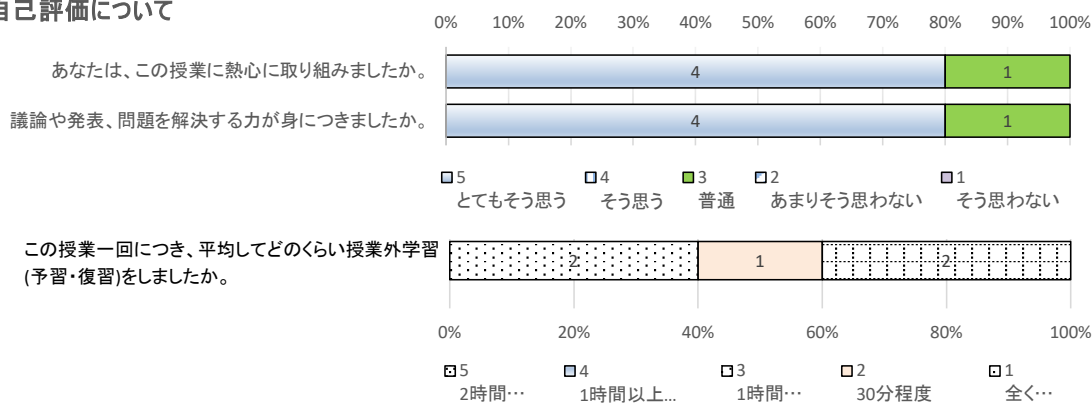
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	3	1	1	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	4	0	1	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	4	0	1	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	2	1	2	0	0	4.0
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	3	1	1	0	0	4.4
総平均							4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	4	0	1	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	4	0	1	0	0	4.6
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	0	2	1	2	2.0

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

当教科は、1年次の調理実習授業で学んだ内容を基に、学生が興味ある調理分野についてより深く学習し、高度な技術と専門的な知識を身につけることを目標として授業を展開した。全設問の総合評価は4.4と、概ね授業内容が理解できたものと思われるが、さらに興味を引きだし意欲的に授業に臨ませるために質疑や課題に対して積極的にフィードバックすることなどの工夫をしていきたい。

②課題と展望(授業改善方策)

設問Ⅱでは、学生が興味を持って取り組んだ結果ではあるが、調理技術コンクール全国大会レベルからすると、基本的な技術面や応用技術に至るまで、更に向上できる指導の必要性を感じている。また、技術面でのレベルアップのみならず、現場で求められる調理師として相應しい人間性なども含め丁寧に指導していきたい。学生たちは謙虚な姿勢で真面目に授業に取り組んでいることから、今後も不得意な技術の習得に貪欲に取り組めるように個々の学生に対して的確な指導助言をしていきたい。

科目コード: 5211

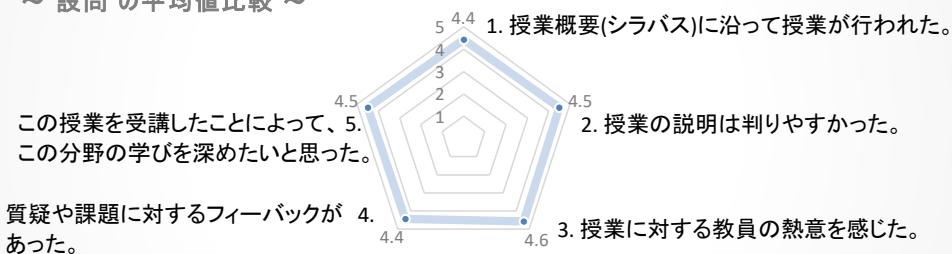
科目名 調理総合演習

回答者数: 14 名

学科・学年: 健2年 授業形態: 演習 担当者 田中辰也(他)

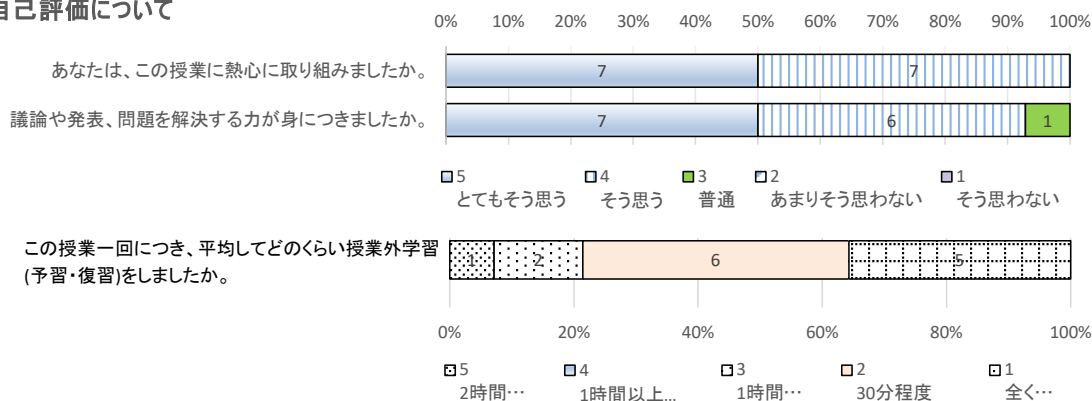
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	8	4	2	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	8	5	1	0	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	9	4	1	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	8	4	2	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	8	5	1	0	0	4.5
総平均							4.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	7	7	0	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	7	6	1	0	0	4.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	0	2	6	5	2.0

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

設問Ⅰの5項目のポイントは4.4ポイントから4.6ポイントの範囲であり、総合平均は4.3ポイントであった。このことから学生の授業に対する満足度は概ね保たれており、「授業概要」の学習目標に到達できたと考えている。
全員が全調協会実技検定グレード2取得を目標に取り組み、成果をあげることができたと考えている。

②課題と展望(授業改善方策)

通常の調理実習とは異なり、デモンストレーションはあまり無く、個人で考えながら時間内に定められた調理を行う授業展開になっている。個人差があると感じているが、概ね調理のスキル向上に繋がり成長したと考えている。、総合的な知識・技術が必要であり就職に向けたトレーニングにもなっていると感じている。